一覧表①（環境保全計画取組状況）

資料1-1

【基本目標1】 持続可能な脱炭素社会の推進（気候変動）

1　脱炭素のまちをつくる　P.2

1 公共交通機関や自転車の利用促進

モビリティ・マネジメント	交通政策課
きょうとエコサマーへの参画	交通政策課
地域公共交通活性化事業	交通政策課
山間地域移動支援事業	交通政策課
高齢者買物移動支援事業	交通政策課

2 環境負荷の少ない都市基盤の整備

農業生産性等向上支援事業	農林茶業課
環境循環型農業促進事業費	農林茶業課
脱炭素経営の促進	環境企画課
開発指導事務	開発指導課
利便性向上に向けた交通環境の整備	交通政策課

3 脱炭素電力の利用推進

-

2　再生可能エネルギーの利用を促進する　P.5

1 家庭・事業所における再生可能エネルギー設備等の導入促進

新たな技術の活用（再掲5-2-3）	環境企画課
脱炭素電力導入メリットの情報提供	環境企画課
家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助事業	環境企画課
ゼロカーボン設備導入事業費補助金	環境企画課
再生可能エネルギーに関する補助制度等の情報提供	環境企画課
再生可能エネルギーの普及促進	環境企画課
再生可能エネルギーの導入基準適合指導	建築指導課

2 市有施設・遊休地における再生可能エネルギー設備等の導入推進

市の公共施設に関する太陽光発電シミュレーション	環境企画課

3　エネルギー利用を効率化する　P.7

1 ZEH、ZEBの普及・促進

建築事業者等への情報提供	環境企画課
ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業	環境企画課
宇治西小倉学園整備事業	学校改革推進課

2 高効率機器・設備の導入促進

先端設備等導入支援事業	産業振興課
建物の断熱化や高効率機器等の普及促進	環境企画課
上下水道施設の機械設備及び電気設備更新	水管理センター

3 電気自動車等の普及・促進

公用自動車の更新	秘書広報課
ZEV普及促進事業費補助事業	環境企画課

4 公共施設におけるエネルギー効率化の率先実行

市役所庁舎等照明LED化事業	資産活用推進課
産業振興センター等照明LED化事業	産業振興課
JR宇治駅前市民交流プラザ等照明LED化事業	観光振興課
コミュニティワークうじ館・こはた館照明LED化事業	人権啓発課
斎場の照明LED化事業	環境企画課
総合福祉会館の照明LED化事業	地域福祉課
公立保育所の照明のLED化事業	保育支援課
地域福祉センター等の照明LED化事業	長寿生きがい課
道路インフラ長寿命化事業	維持課
市営住宅共用部照明のLED化事業	住宅課
公園照明LED化事業	公園緑地課
自転車等駐車場の照明LED化事業	交通政策課
水道庁舎の照明LED化事業	上下水道総務課
上下水道施設の照明LED化事業	水管理センター
生涯学習センター・公民館の照明設備のLED化事業	生涯学習課

Ujiふれあい教室のLED化事業	教育支援課	
消防施設のLED化事業	消防総務課	
熱線遮熱フィルムの活用（再掲5-2-3）	環境企画課	
小学校遮熱カーテン設置事業	学校管理課	
中学校遮熱カーテン設置事業	学校管理課	
4　ライフスタイルを転換する		**P.15**
1 省エネルギー行動の普及・促進		
エコドライブの普及・啓発	秘書広報課	
環境管理制度認証登録支援事業費補助事業	環境企画課	
エコアクション推進事業	環境企画課	
緑のカーテンの普及・育成事業	環境企画課	
省エネルギー等に関する取組	環境企画課	
緑のカーテンの普及啓発	環境企画課	
家庭用雨水タンク設置事業費補助事業	環境企画課	
クールスポット事業	環境企画課	
クールスポット事業	健康づくり推進課	
2 デコ活の普及・促進		
デコ活の普及促進	環境企画課	
3 テレワークなどの導入推進		
-		
4 食品等の地産地消の推進		
地産地消の推進	農林茶業課	
食育だよりの発行 （再掲2-1-2）	健康づくり推進課	
5 グリーン購入・調達の推進		
グリーン購入の推進	環境企画課	
用品調達基金のグリーン購入率の向上、活用の推進	会計室	
5　気候変動に備える（適応策） ※一覧表②にて集計		**－**
1 幅広い分野における適応策の推進		
2 気候変動の影響や備えなどについての情報発信		
3 最新の科学的知見の収集		
4 災害時廃棄物の処理体制の構築		
【基本目標2】廃棄物ゼロ（ゼロエミッション）を目指す循環型社会の推進（資源循環）		
1　ごみを削減する		**P.19**
1 プラスチックごみの削減		
プラスチック資源の分別収集の推進	まち美化推進課	
2 食品ロスの削減		
市役所食堂での盛り付けの工夫	職員厚生課	
フードドライブ	まち美化推進課	
食育だよりの発行 （再掲1-4-4）	健康づくり推進課	
3 有料ごみ袋制の検討		
-		
2　3R＋Renewableを推進する		**P.20**
1 ごみの発生抑制		
図書館資料の修理	中央図書館	
2 リサイクルの推進		
リサイクル・リユースの推進	環境企画課	
制服リユース事業	まち美化推進課	
海外リユース事業	まち美化推進課	
介護用品リサイクル事業	長寿生きがい課	
リサイクル市の開催	中央図書館	
夏休みリサイクル工作教室・大人のリサイクル工作	西宇治図書館	
3 3R＋Renewableの普及・啓発の充実		
不法投棄、持ち去り対策（再掲3-2-他）	まち美化推進課	
3R＋Renewableの普及、啓発	まち美化推進課	
環境教育（再掲5-1-2）	まち美化推進課	
出前講座（再掲5-1-3）	まち美化推進課	
3　廃棄物を適正に処理する		**P.23**
1 ごみの分別の促進		

古紙等集団回収事業	まち美化推進課
資源物の拠点回収	まち美化推進課
ふれあい収集事業	まち美化推進課

2 事業系ごみの適正排出の推進

-

【基本目標3】安全で安心な暮らしを守る生活環境の保全（生活環境）

1 安らぎのある健全な生活環境を守る P.25

1 大気や水質、騒音等の環境監視

大気汚染の調査・監視等	環境企画課
騒音・振動の発生源の調査・監視等	環境企画課
水質の調査・排出源の監視等	環境企画課
合併浄化槽の普及・適正な維持管理	環境企画課
道路維持修繕事業	維持課
開発指導事務	開発指導課
基準に合致した建設機械の使用について指導	配水課
基準に合致した建設機械の使用について指導	下水道施設保全課
より美しく安全な川をつくる	水管理センター

2 美しいまちをつくる P.27

1 環境美化活動の推進

クリーン宇治運動	総務課
環境美化啓発活動	環境企画課

2 空き地・空き家の適正管理

不良状態の空き地所有者に対する指導等	環境企画課
空き家等対策関連事業	住宅課

他 その他関連する取組

不法投棄、持ち去り対策（再掲2-2-3）	まち美化推進課
放置自動車等防止対策事業	建設総務課
道路維持修繕事業	維持課
自転車等駐車場管理事業	交通政策課
自転車放置防止対策事業	交通政策課

【基本目標4】自然、文化、人が共生する豊かな都市環境の保全（環境共生）

1 豊かな自然環境を守る P.30

1 生物多様性の保全

アライグマ及びヌートリア防除事業	農林茶業課
外来生物に関する情報提供	環境企画課

2 自然環境の保全

開発指導事務	開発指導課

3 豊かな自然の保全・利活用

京都府の条例に基づく緑化促進	公園緑地課
総合野外活動センター管理運営費	生涯学習課

他 その他関連する取組

優良高品質茶の生産支援	農林茶業課
宇治茶の茶園保全と担い手の育成	農林茶業課

2 自然と文化が調和した都市環境をつくる P.32

1 歴史・文化や景観を守り育てるまちづくりの推進

宇治川周辺の憩いの提供と美しい景観づくり	観光振興課
お茶に関する伝統行事の啓発	観光振興課
伝統行事の継承と活用	観光振興課
豊富な歴史遺産との連携	観光振興課
宇治田楽まつり	文化スポーツ課
都市景観形成対策事業	歴史まちづくり推進課
歴史的風致の維持向上に資する事業の実施	歴史まちづくり推進課
文化的景観保存事業	歴史まちづくり推進課
源氏物語ミュージアム企画展示費・特別企画展示費　講座等開催費	博物館管理課
歴史資料館展示活動費　教育普及活動費	博物館管理課

2 屋外広告物の規制

屋外広告物許可事務	歴史まちづくり推進課
違反広告物除却推進事業	歴史まちづくり推進課

3 みどりの保全と緑化の推進

緑の募金並びに地域緑化推進事業	農林茶業課
道路維持修繕事業	維持課

	名木百選保全	公園緑地課
	緑化啓発	公園緑地課
	みどりのボランティア推進事業	公園緑地課
	まちかどふれあい花だん推進事業	公園緑地課
	開発指導事務	開発指導課
3　森林資源の有効活用を図る		**P.37**
1 森林の保全・整備と活用		
	市有林造林事業	資産活用推進課
	森林適正整備推進事業（緑の公共事業）	農林茶業課
	森林病害虫等防除事業	農林茶業課
	森林保全地域連携活動事業費	農林茶業課
	森林経営管理運営費	農林茶業課
2 府内産木材の利用促進		
	公共施設内木質化促進事業	農林茶業課
	公園施設京都府内産木材備品等整備事業（公共施設内木質化促進事業）	公園緑地課
	京都府内産木材等の使用基準量適合指導	建築指導課
	京都府内産木材の利用促進	学校改革推進課
	京都府内産木材の利用促進	生涯学習課
【5】 施策推進に際しての横断的視点		
1　多様な主体との連携、環境教育の充実を図る		**P.40**
1 あらゆる主体と連携した活動		
	宇治NEXT（宇治市・宇治商工会議所）連携事業	産業振興課
	宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）との協働	環境企画課
	出前環境学習会	環境企画課
	京都府立大学地域貢献型特別研究	環境企画課
	産学公連携による熱中症標語コンテストの実施	警防救急課
2 次世代を担う子ども達への環境教育の充実		
	親子で学ぶゼロカーボンツアー	環境企画課
	環境教育（再掲2-2-3）	まち美化推進課
	交通学習の実施	交通政策課
	「宇治学」推進事業	学校教育課
	社会科教育振興事業	学校教育課
	環境教育（SDGsの啓発）	東宇治図書館
	環境をテーマにした図書展示の実施	善法青少年センター
	楽しい日「環境学習編」	河原青少年センター
3 すべての世代への環境学習の推進		
	防災出前講座	危機管理室
	防災シンポジウム	危機管理室
	ゼロカーボンセミナー事業	環境企画課
	出前講座	環境企画課
	環境展	環境企画課
	環境フェスタ	環境企画課
	出前講座（再掲2-2-3）	まち美化推進課
	生涯学習講座における環境学習の推進	生涯学習課
	環境月間・地球温暖化対策月間テーマ図書展示	中央図書館
	環境月間テーマ図書展示	西宇治図書館
2　時代の潮流を捉えた施策を推進する		**P.46**
1 SDGsの視点からの施策の推進		
	地方創生と持続可能な開発目標	政策戦略課
2 デジタル技術を活用した施策の推進		
	ホームページやSNSでの情報発信	環境企画課
	デジタル化の推進	環境企画課
	「宇治学」副読本のデジタル化事業	学校教育課
3 新たな技術を活用した取組についての情報提供		
	熱線遮熱フィルムの活用（再掲1-3-4）	環境企画課
	新たな技術の活用（再掲1-2-1）	環境企画課

施策の方針・評価ごとの事業数集計（R7年度事業評価）

基本目標1　持続可能な脱炭素社会の推進

施策の方針		数値評価					進捗度評価					義務法令	事業数計
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
1	脱炭素のまちをつくる	7	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	10
2	再生可能エネルギーの利用を促進する	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	8
3	エネルギー利用を効率化する	22	2	0	2	0	1	0	0	1	0	0	28
4	ライフスタイルを転換する	10	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	14
合計		40	6	1	3	5	1	0	0	2	0	2	60

※【5気候変動に備える】は別集計

基本目標２　廃棄物ゼロ（ゼロエミッション）を目指す循環型社会の推進

施策の方針		数値評価					進捗度評価					義務法令	事業数計
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
1	ごみを削減する	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
2	3R+Renewable を推進する	9	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	11
3	廃棄物を適正に処理する	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計		15	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	18

基本目標３　安全で安心な暮らしを守る生活環境の保全

施策の方針		数値評価					進捗度評価					義務法令	事業数計
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
1	安らぎのある健全な生活環境を守る	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	9
2	美しいまちをつくる	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	9
合計		5	0	2	1	0	0	0	0	0	0	10	18

基本目標４　自然、文化、人が共生する豊かな都市環境の保全

施策の方針		数値評価					進捗度評価					義務法令	事業数計
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
1	豊かな自然環境を守る	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
2	自然と文化が調和した都市環境をつくる	9	2	1	0	0	3	0	0	0	0	4	19
3	森林資源の有効活用を図る	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	10
合計		22	2	2	0	0	3	0	0	0	0	7	36

施策推進に際しての横断的視点

施策の方針		数値評価					進捗度評価					義務法令	事業数計
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
1	多様な主体との連携、環境教育の充実を図る	18	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	23
2	時代の潮流を捉えた施策を推進する	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	6
合計		20	2	1	0	0	4	0	0	2	0	0	29

基本目標1　持続可能な脱炭素社会の推進（気候変動）

施策の方針1　脱炭素のまちをつくる

■　基本施策1　公共交通機関や自転車の利用促進

所属	交通政策課						数値評価
名称	モビリティ・マネジメント	R7 指標	宇治市内の鉄道駅・バス停留所の利用者数（人）			評価	A
		目標値	3,500,000	実績値	3,693,000 （R5）	達成率	106%
		評価理由	-				
事業概要	マイカーからの転換をはじめとした公共交通の利用促進を図る。						
R7 結果	わんさかフェスタ、宇治環境フェスタなどのイベントにおける公共交通の利用を啓発し、バスのルートや停留所を表示した「お出かけマップ」を配布した。【配布数:約 2,000 枚】						
R8 課題	市内の主な鉄道駅・バス停留所の利用者が前年度の水準を維持すること。						

所属	交通政策課						数値評価
名称	きょうとエコサマーへの参画	R7 指標	「きょうとエコサマー」の利用者（人）			評価	A
		目標値	70,000	実績値	89,426	達成率	128%
		評価理由	-				
事業概要	モビリティ・マネジメントを推進するため、夏休みに対象の路線バスの運賃を大人 1 人につき同伴の小学生の子ども 2 人まで無料とする京都府の「きょうとエコサマー」事業に参画し、児童に公共交通への理解を深める機会を提供する。						
R7 結果	「きょうとエコサマー」に参画し、小学校へのチラシの配布や市政だよりへの掲載を通じて、市民に事業を周知した。						
R8 課題	「きょうとエコサマー」の利用者が前年度の水準を維持すること。						

所属	交通政策課						数値評価
名称	地域公共交通活性化事業	R7 指標	のりあい交通事業の収支率（%）			評価	A
		目標値	70	実績値	69	達成率	99%
		評価理由	-				
事業概要	環境負荷の軽減を図るため、既存公共交通の利用促進や、地域と協働した公共交通の確保を通じて、乗り合いによる移動を促進する。						
R7 結果	わんさかフェスタに参加し、公共交通の利用を啓発するとともに、明星町地区においてバス路線の確保及び利用を促進するため、「のりあい交通事業」を実施した。						
R8 課題	イベントで公共交通の利用を啓発するとともに「のりあい交通事業」を実施する。						

所属	交通政策課					数値評価
名称	山間地域移動支援事業	R7 指標	炭山区町内会の交通空白地有償運送の延べ利用者数(人)		評価	A
		目標値	150	実績値 136	達成率	91%
		評価理由	-			
事業概要	環境負荷の軽減を図るため、地域が主体となり地域交通を確保することにより、地域住民等の移動手段を確保するとともに、乗り合い移動を促進する。					
R7結果	炭山区町内会が行う交通空白地有償運送に対し、補助金の交付を行った。					
R8課題	炭山区町内会が行う交通空白地有償運送に対し支援を行う。					

所属	交通政策課					数値評価
名称	高齢者買物移動支援事業	R7 指標	紫ヶ丘地域の徳洲会病院運行の送迎バスの延べ利用者数(人)		評価	A
		目標値	500	実績値 846	達成率	169%
		評価理由	-			
事業概要	環境負荷の軽減を図るため、既存の移動手段を利用することにより、個別移動ではなく乗り合いによる移動を促進する。					
R7結果	紫ヶ丘地域において、徳洲会病院が運行する送迎バスへの混乗を行った。					
R8課題	紫ヶ丘地域において、徳洲会病院が運行する送迎バスへの混乗を行う。					

■ 基本施策２ 環境負荷の少ない都市基盤の整備

所属	農林茶業課					数値評価
名称	農業生産性等向上支援事業	R7 指標	農業生産性等向上支援事業補助金交付件数(件)		評価	A
		目標値	50	実績値 68	達成率	136%
		評価理由	-			
事業概要	生産コスト上昇分の農作物への価格転嫁が難しい仕組みの中、物価高騰対策として、生産性向上、効率化、省エネ化等を目的とした資材･機器の導入を支援する。					
R7結果	生産性の向上、効率化、省エネ化等を目的とした資材･機器の導入支援を行った。					
R8課題	生産性の向上、効率化、省エネ化、高収益化等を図る資材･機器等の導入に対して幅広く支援することで、市内農家の安定的な農業経営を支えることを目標に事業を実施する。今後も制度の周知を図り、安定した農業経営を促進する。					

所属	農林茶業課					数値評価
名称	環境循環型農業促進事業費	R7 指標	環境循環型農業促進事業費補助金交付件数(件)		評価	E
		目標値	3	実績値 0	達成率	0%
		評価理由	-			
事業概要	持続可能で循環型社会に沿った生産形態の実現を目指すため、農産物の再利用に向けた取組を行う農業者を支援する。					
R7結果	農産物の再利用に向けた取組を行う農業者を支援するための補助金について周知したが、申請は無かった。					
R8課題	事業の周知を図り、循環型社会に沿った新たな生産形態の実現を目指し営む活動を支援する。					

所属	環境企画課						数値評価
名称	脱炭素経営の促進	R7 指標	事業者向けセミナー開催数(回)			評価	E
		目標値	3	実績値	0	達成率	0%
		評価理由	-				
事業概要	事業者の脱炭素経営を促進するため、省エネ対策やエネルギーコスト削減に繋がる取組、補助制度などの情報提供を行う。						
R7 結果	市政だよりで脱炭素経営のメリットについて情報を掲載した。事業者向け講座では出前講座の申込みを募ったが、参加企業が無かった。						
R8 課題	事業者向け出前講座は申込みが無かったため、企業が参加しやすい実施手法を検討する。						

所属	開発指導課						義務法令
名称	開発指導事務	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	環境負荷の少ない都市基盤の整備を図るため、開発事業者と協議し、道路や歩道を整備して道路交通の適正化を図り、温室効果ガス排出量の削減を目指す。(根拠法令:宇治市まちづくり・景観条例)						
R7 結果	宇治市開発事業ガイドライン等に基づき、開発事業者と事前に協議を行い、道路幅員等その他道路の整備について指導し、協力を求めた。						
R8 課題	宇治市開発事業ガイドライン等に基づき、開発事業者と事前に協議を行い、良好な居住環境の整備に努める。						

所属	交通政策課						数値評価
名称	利便性向上に向けた交通環境の整備	R7 指標	鉄道駅のバリアフリー工事完了駅数(駅)			評価	A
		目標値	14	実績値	14	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	公共交通機関の利用を促進するため、鉄道駅を含む駅周辺のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化をはじめとした利用環境及びサービスの向上を図る。						
R7 結果	JR 西日本と協力し JR 黄檗駅のバリアフリー化工事を実施し、R7 年度で市内の全ての鉄道駅のバリアフリー化工事が完了した。						
R8 課題	R7 年度で完了した。						

施策の方針2　再生可能エネルギーの利用を促進する

■　基本施策1　家庭・事業所における再生可能エネルギー設備等の導入促進

所属	環境企画課						進捗度評価
名称	新たな技術の活用（再掲 5-2-3）	R7 指標	-			評価	D
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	開発状況等の情報収集を行っているが、具体的な協議に至っていないため。				
事業概要	再生可能エネルギーの利用促進を図るため、次世代型太陽光発電などの新技術に関する情報収集を行うとともに、これらの社会実装に向けた取組に協力する。						
R7 結果	情報収集にとどまり、市として具体的な連携、協力提案等は行えなかった。						
R8 課題	企業との協議の場を持ち、開発状況に関する情報収集を行うとともに、連携、協力内容について具体的な検討を行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	脱炭素電力導入メリットの情報提供	R7 指標	脱炭素導入メリットのホームページ掲載回数（回）			評価	E
		目標値	1	実績値	0	達成率	0%
		評価理由	-				
事業概要	再生可能エネルギーの利用促進を図るため、脱炭素電力の導入メリットの情報提供を行う。						
R7 結果	脱炭素電力の導入メリットの情報提供に向けた検討を行ったが、情報提供は出来なかった。						
R8 課題	脱炭素電力の導入メリットの情報収集を行い、ホームページ等で掲載できるよう検討を進める。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助事業	R7 指標	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金交付件数（件）			評価	B
		目標値	60	実績値	44	達成率	73%
		評価理由	-				
事業概要	住宅における再生可能エネルギーの利用を促進するため、自宅に住宅用太陽光発電及び蓄電設備を同時に設置した人又は両設備が設置された新築住宅を取得した人に経費の一部を補助する。（FIT 対象）						
R7 結果	補助件数の拡充を行ったが、目標は達成できず、交付件数は前年度と同程度の件数となった。						
R8 課題	R6,7 年度の補助件数拡充の期間が終了したため、目標値を変更した。再生可能エネルギーの普及を進めるため、ホームページやチラシなどで補助制度の周知を図る。						

所属	環境企画課					数値評価
名称	ゼロカーボン設備導入事業費補助金	R7 指標	ゼロカーボン設備導入事業費補助金交付件数(件)		評価	B
		目標値	20	実績値 13	達成率	65%
		評価理由	-			
事業概要	住宅におけるエネルギーの自立化及び効率化を推進するため、自宅に住宅用太陽光発電及び蓄電設備などを同時に設置した人(個人)に経費の一部を補助する。(非 FIT 対象)					
R7 結果	申請の受付を 5 月から開始し、チラシ等を配布して周知を図ったが、申請要件等が複雑なこともあり、目標の申請件数には達しなかった。【太陽光発電・蓄電設備の補助件数:7 件、高効率給湯機器:6 件】					
R8 課題	R8 年度は補助金額の拡充を行う。ホームページやチラシなどで補助制度の周知を図り、申請の手引きを作成して説明するなどして申請を促す。					

所属	環境企画課					数値評価
名称	再生可能エネルギーに関する補助制度等の情報提供	R7 指標	再生可能エネルギーに関する情報提供回数(回)		評価	A
		目標値	1	実績値 1	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	再生可能エネルギー設備等の導入促進のため、国・京都府などが実施している補助制度に関する広報に協力する。					
R7 結果	京都府の太陽光発電共同購入事業のチラシの市政だより同時ポスティングに協力した。					
R8 課題	ホームページや事業などを通じて、国・京都府・宇治市の補助事業に関する情報提供を行う。					

所属	環境企画課					数値評価
名称	再生可能エネルギーの普及促進	R7 指標	再生可能エネルギーに関する事業実施回数(回)		評価	C
		目標値	2	実績値 1	達成率	50%
		評価理由	-			
事業概要	太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの普及促進を図るため、講座や学習会を開催するとともに、ホームページや市政だよりにおいて情報を提供する。					
R7 結果	eco ット宇治とともに「DIY で出来る小さな太陽光発電入門講座」を実施し、実演を交えた内容で参加者の満足度が高かった。講座を担う eco ット宇治内のグループが解散したため、実施は 1 回に留まった。その他に、補助制度に関するチラシの作成・配布により普及啓発を行った。					
R8 課題	太陽光発電講座は毎年度好評であるため、eco ット宇治の運営体制を見直して R8 年度も実施する。その他に市政だより等への啓発記事の掲載、補助制度に関するチラシの作成・配布を行う。【目標　講座:1 回、市政だより掲載:1 回】					

所属	建築指導課					義務法令
名称	再生可能エネルギーの導入基準適合指導	R7 指標	-		評価	-
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	-			
事業概要	京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例に基づき、再エネ設備の導入義務がある。 特定建築物(2,000 ㎡以上)については建築計画に関する(着手前)届出及び工事完了報告を、また、準特定建築物(300 ㎡以上 2,000 ㎡未満)については工事完了報告の義務がある。(根拠法令:京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例)					
R7 結果	全ての特定建築物(2,000 ㎡以上)及び準特定建築物(300 ㎡以上 2,000 ㎡未満)について、基準適合を確認した。 【特定建築物届出等件数:3 件(変更含まない。)、準特定建築物報告件数:14 件】					
R8 課題	窓口対応や他課から情報共有により把握した 300 ㎡以上の建築予定の事業者に対し、一層丁寧に本条例の目的・必要性を説明し、全ての対象建築物の基準適合するよう指導する。					

■ 基本施策2 市有施設・遊休地における再生可能エネルギー設備等の導入推進

所属	環境企画課						数値評価
名称	市の公共施設に関する太陽光発電シミュレーション	R7 指標	太陽光発電設備設置に係るシミュレーションの実施回数(回)			評価	E
		目標値	1	実績値	0	達成率	0%
		評価理由	-				
事業概要	市有施設における再生可能エネルギー設備等の導入を進めるため、市の公共施設に太陽光発電を設置した場合の発電量等のシミュレーションを行う。						
R7 結果	簡易シミュレーションの手法について情報収集を行ったが、具体的な実施には至らなかった。						
R8 課題	簡易シミュレーションの手法の検討を進める。						

施策の方針3 エネルギー利用を効率化する

■ 基本施策1 ZEH、ZEB の普及・促進

所属	環境企画課						数値評価
名称	建築事業者等への情報提供	R7 指標	脱炭素関連補助金チラシの送付回数(回)			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	ZEH、電気自動車の充電設備などの普及促進を図るため、建築事業者等に ZEH・V2H 充放電設備・充電設備・太陽光発電設備補助金の情報提供を行う。						
R7 結果	市の脱炭素関連補助金のチラシを作成し、建築事業者に一斉送付を行った。【送付件数:54 件】						
R8 課題	R7 年度はチラシの送付が秋であったが、R8 年度は年度前半に送付し、申請件数の増加につなげる。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業	R7 指標	ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業補助金交付件数(件)			評価	D
		目標値	10	実績値	2	達成率	20%
		評価理由	-				
事業概要	ZEH の普及促進を図るため、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅(ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH))を新築・購入を行った人に経費の一部を補助する。						
R7 結果	環境省の ZEH 補助金の交付を R7 年度に受けた人を対象に補助金を交付した。						
R8 課題	R8 年度は国のみらいエコ住宅 2026 事業(子育てグリーン住宅支援事業)の GX 志向型住宅の補助金を受けた人を交付対象に加え、ZEH の普及を図る。						

所属	学校改革推進課						数値評価
名称	宇治西小倉学園整備事業	R7 指標	基準一次エネルギー消費量に対しての削減率(%)			評価	A
		目標値	40	実績値	49	達成率	123%
		評価理由	-				
事業概要	エネルギー利用の効率化を図るため、R8 年 4 月に開校する、宇治西小倉学園は、高断熱化、高効率空調を採用し、エネルギー使用量を低減できる施設整備を行い、ZEB-Oriented を取得する予定である。						
R7 結果	R6 年 2 月から建設工事を進めていた宇治西小倉学園について、R8年 2 月に完成し、ZEB-Oriented を取得することができた。						
R8 課題	開校した宇治西小倉学園が ZEB－Oriented を取得したことを HP 等を活用して市民への周知を行い、事業等は終了した。						

■ 基本施策2 高効率機器・設備の導入促進

所属	産業振興課						数値評価
名称	先端設備等導入支援事業	R7 指標	先端設備等導入支援補助金交付件数(件)			評価	A
		目標値	20	実績値	45	達成率	225%
		評価理由	-				
事業概要	高効率機器・設備の導入促進を図るため、ICT 化や自動化、省電力化等により労働生産性の向上を目的とした先端設備等の取得に要する経費と DX 推進にかかる経費の一部を補助する。						
R7 結果	市内中小事業者の経営力の強化を図るため、国等の補助金対象外の先端設備等の導入を行う事業者に対し、補助金を交付し、労働生産性の向上を支援することができた。						
R8 課題	先端設備等の取得に要する経費や DX 推進にかかる経費の一部を補助することで、中小事業者が行う労働生産性の向上や付加価値の増加に対する支援を行い、経営力の強化を図る。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	建物の断熱化や高効率機器等の普及促進	R7 指標	建物の断熱化、高効率機器等の普及にかかる事業実施回数(回)			評価	D
		目標値	3	実績値	1	達成率	33%
		評価理由	-				
事業概要	エネルギー利用の効率化を図るため、建物の断熱化や高効率機器の導入を促進する。						
R7 結果	生涯学習センターと共催し、市民向けに、建物の断熱に関する講座を実施し、断熱の効果や取り組みやすい実践例を紹介した。講座の開催は 1 回のみとなったが、高効率給湯機器等の導入に関する国の補助制度のチラシを配架し、市政だよりに掲載し市民への周知を図った。						
R8 課題	断熱や高効率機器の導入の効果を PR するため、講座を実施することに合わせて、市政だよりの掲載やチラシ配架等で情報提供を行う。						

所属	水管理センター						数値評価
名称	上下水道施設の機械設備及び電気設備更新	R7 指標	水管理センターの契約電力の前年度比の削減率(%)			評価	A
		目標値	1	実績値	2	達成率	200%
		評価理由	-				
事業概要	エネルギー利用の効率化を図るため、設備の更新にあたり、高効率機器を積極的に選定する。						
R7 結果	複数年契約工事の初年度であり、設備を製作中のため来年度に機器の更新を行う。						
R8 課題	工事中の案件においては、設備製作が完了するため、設備の更新を行う。 引き続き、高効率機器や効率運転制御機能を有する設備への更新に向け工事発注を実施する。						

■ 基本施策3 電気自動車等の普及・促進

所属	秘書広報課						数値評価
名称	公用自動車の更新	R7 指標	ガソリン車から電気自動車への更新台数(台)			評価	A
		目標値	2	実績値	2	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	電気自動車の普及・促進を図るため、公用自動車の電気自動車等への更新を計画的に進める。						
R7 結果	公用自動車を電気自動車に 2 台更新した。						
R8 課題	R8 年度は更新車両のうち 1 台を電気自動車で更新する。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	ZEV普及促進事業費補助事業	R7 指標	ZEV普及促進事業費補助金交付件数(件)			評価	A
		目標値	90	実績値	84	達成率	93%
		評価理由	-				
事業概要	温室効果ガスの排出削減を目指し、ZEV の普及を促進するため、ZEV・充電設備・V2H充放電設備の導入経費の一部を補助する。						
R7 結果	R6 年度から補助制度を開始した。ZEV の交付件数は目標を達成したが、充電設備は申請が無かった。【交付件数/目標件数:ZEV83/70 件、充電設備:0/10 件、V2H 充放電設備 1/10 件】						
R8 課題	R7 年度は充電設備は申請がなく、V2H 充放設備は申請が少なかったため、R8 年度はチラシやホームページに加え、SNS で制度を周知し、さらなる ZEV の普及に取り組む。【目標 交付件数:ZEV110 件、充電設備 13 件、V2H 充放電設備 10 件】						

■ 基本施策4 公共施設におけるエネルギー効率化の率先実行

所属	資産活用推進課						数値評価
名称	市役所庁舎等照明 LED 化事業	R7 指標	市役所庁舎の LED 更新灯数(灯)			評価	A
		目標値	1,250	実績値	1,250	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため、本庁舎棟及び議会棟等の LED 化を実施する。						
R7 結果	本庁舎棟 3 階から 6 階において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。						
R8 課題	本庁舎 7 階等及び議会棟 1 階から 4 階において既存照明器具を LED 照明器具に更新する。						

所属	産業振興課						数値評価
名称	新規 産業振興センター等照明 LED 化事業	R7 指標	産業振興センター、ベンチャー企業育成工場の LED 更新灯数（灯）			評価	A
		目標値	278	実績値	278	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため、産業振興センター、ベンチャー企業育成工場の LED 化を実施する。						
R7 結果	産業振興センター、ベンチャー企業育成工場において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。						
R8 課題	R7 年度で産業振興センターの LED 化が完了した。引き続き、ベンチャー企業育成工場において既存照明器具を LED 照明器具に更新する。						

所属	観光振興課						数値評価
名称	新規 JR宇治駅前市民交流プラザ等照明 LED 化事業	R7 指標	JR宇治駅前市民交流プラザ等の LED 更新灯数（灯）			評価	A
		目標値	202	実績値	202	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するためJR宇治駅前市民交流プラザ等の LED 化を実施する。						
R7 結果	JR宇治駅前市民交流プラザ等において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。						
R8 課題	引き続き、既存照明器具を LED 照明器具に更新する。						

所属	人権啓発課						数値評価
名称	新規 コミュニティワークうじ館・こはた館照明 LED 化事業	R7 指標	コミュニティワークうじ館・こはた館の LED 更新灯数（灯）			評価	A
		目標値	371	実績値	371	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため、コミュニティワークうじ館・こはた館の照明の LED 化を実施する。						
R7 結果	コミュニティワークうじ館・こはた館の照明の LED 化を完了させた。						
R8 課題	R7 年度で完了した。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	新規 斎場の照明 LED 化事業	R7 指標	斎場の LED 更新灯数（灯）			評価	A
		目標値	58	実績値	58	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため斎場の LED 化を実施する。						
R7 結果	斎場において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。						
R8 課題	引き続き、既存照明器具を LED 照明器具に更新する。						

所属	地域福祉課					数値評価
名称	新規 総合福祉会館の照明 LED 化事業	R7 指標	総合福祉会館の LED 更新灯数（灯）		評価	A
		目標値	547	実績値 547	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため総合福祉会館の LED 化を実施する。					
R7 結果	総合福祉会館において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。					
R8 課題	引き続き、既存照明器具を LED 照明器具に更新する。					

所属	保育支援課					数値評価
名称	公立保育所の照明の LED 化事業	R7 指標	宇治・西小倉保育所の LED 更新灯数(灯)		評価	A
		目標値	246	実績値 251	達成率	102%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため、各公立保育所の照明の LED 化を実施する。					
R7 結果	宇治保育所、西小倉保育所の 2 園において、園舎全ての照明を LED 照明へ更新した。					
R8 課題	大久保保育所と北木幡保育所の 2 園において、園舎全ての照明を LED 照明に更新する。					

所属	長寿生きがい課					数値評価
名称	新規 地域福祉センター等の照明 LED 化事業	R7 指標	広野地域福祉センター等の LED 更新灯数(灯)		評価	A
		目標値	249	実績値 249	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため地域福祉センター等の LED 化を実施する。					
R7 結果	広野地域福祉センター等において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。					
R8 課題	引き続き、既存照明器具を LED 照明器具に更新する。					

所属	維持課					数値評価
名称	道路インフラ長寿命化事業	R7 指標	黄檗トンネルの LED 更新灯数（灯）		評価	A
		目標値	72	実績値 72	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため、道路照明施設の LED 化を実施する。					
R7 結果	黄檗トンネルの道路照明施設の LED 化工事を R6 年度に着手、R7 年度上半期に完成した。また、岩分第一トンネルおよび岩分第二トンネルの道路照明施設については LED 化に向けた検討を実施した。					
R8 課題	岩分第一トンネルおよび岩分第二トンネルの道路照明施設について LED 化工事の着手を目指す。					

所属	住宅課					数値評価
名称	市営住宅共用部照明の LED 化事業	R7 指標	市営住宅の共用部分の照明の LED 化済住棟数の割合(%)		評価	B
		目標値	40	実績値 30	達成率	75%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため、市営住宅の共用部分の照明の LED 化を、外壁改修工事のタイミングに合わせて実施する。					
R7 結果	槇島吹前市営住宅 9 棟の共用部分の照明の LED 化を、外壁改修工事に合わせて実施する。 【目標 共用部分照明の LED 化済み住棟:29.6%(8 棟/27 棟)】					
R8 課題	神明宮東市営住宅 1 棟～3 棟の共用部分の照明の LED 化を、屋根改修工事に合わせて実施する。 【目標 共用部分照明の LED 化済み住棟:40.7%(11 棟/27 棟)】					

所属	公園緑地課					数値評価
名称	公園照明 LED 化事業	R7 指標	有料公園の LED 更新箇所数(か所)		評価	B
		目標値	3	実績値 2	達成率	67%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため、市内の公園にある公園灯を LED 化を実施する。					
R7 結果	市内の公園にある公園灯を LED に更新した。 【更新箇所数:植物公園、西宇治公園園路】					
R8 課題	有料公園の公園灯の LED 化は、長寿命化計画に合わせて実施する。(R8 年度は実施予定無し)					

所属	交通政策課					数値評価
名称	新規 自転車等駐車場の照明 LED 化事業	R7 指標	市営自転車等駐車場の LED 更新施設数(施設)		評価	A
		目標値	1	実績値 1	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため市営自転車等駐車場の LED 化を実施する。					
R7 結果	JR六地蔵駅前第二自転車等駐車場において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。					
R8 課題	市営自転車等駐車場の照明の LED 化は、長寿命化計画に合わせて実施する。					

所属	上下水道総務課					数値評価
名称	新規 水道庁舎の照明 LED 化事業	R7 指標	水道庁舎の LED 更新灯数(灯)		評価	A
		目標値	247	実績値 247	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため水道庁舎の LED 化を実施する。					
R7 結果	水道庁舎において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。					
R8 課題	R7年度で完了した。					

所属	水管理センター					数値評価
名称	新規 上下水道施設の照明 LED 化事業	R7 指標	宇治浄水場等の LED 更新灯数（灯）		評価	A
		目標値	92	実績値 92	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため水道施設の LED 化を実施する。					
R7 結果	宇治浄水場等において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。					
R8 課題	引き続き、既存照明器具を LED 照明器具に更新する。					

所属	生涯学習課					進捗度評価
名称	生涯学習センター・公民館の照明設備の LED 化事業	R7 指標	-		評価	A
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	R8 年度工事に向け、計画通り進めることができたため。			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため、生涯学習センターや公民館における照明設備について、随時 LED 化を実施する。					
R7 結果	生涯学習センターについては、R7～8 年度中規模改修工事において照明設備の LED 化を実施する予定をしており、R6 年度はその実施設計を行った。公民館については、LED 化工事を行うことができなかった。					
R8 課題	R8 年度に実施する生涯学習センターの中規模改修工事の際に LED 化を実施する。公民館は、随時 LED 化を進める。					

所属	教育支援課					数値評価
名称	新規 Uji ふれあい教室の LED 化事業	R7 指標	Uji ふれあい教室の LED 更新灯数(灯)		評価	A
		目標値	17	実績値 17	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため Uji ふれあい教室の LED 化を実施する。					
R7 結果	Uji ふれあい教室において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。					
R8 課題	引き続き、既存照明器具を LED 照明器具に更新する。（R8 年度は工事は無し。R9 年度実施予定。）					

所属	消防総務課					数値評価
名称	新規 消防施設の LED 化事業	R7 指標	うじ安心館等の LED 更新灯数（灯）		評価	A
		目標値	929	実績値 929	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	消費電力の削減および温室効果ガスの排出を抑制するため消防施設の LED 化を実施する。					
R7 結果	うじ安心館等において、既存照明器具を LED 照明器具に更新した。					
R8 課題	引き続き、既存照明器具を LED 照明器具に更新する。					

所属	環境企画課						進捗度評価
名称	熱線遮熱フィルムの活用(再掲 5-2-3)	R7 指標	-			評価	D
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	開発状況等の情報収集を行っているが、具体的な協議に至っていないため。				
事業概要	エネルギー利用の効率化を図るため、熱線遮蔽フィルムに関する情報収集を行うとともに、社会実装に向けた実証実験に協力する。						
R7 結果	情報収集にとどまり、市として具体的な連携、協力提案等は行えなかった。						
R8 課題	企業との協議の場を持ち、開発状況に関する情報収集を行うとともに、連携、協力内容について具体的な検討を行う。						

所属	学校管理課						数値評価
名称	新規 小学校遮熱カーテン設置事業	R7 指標	小学校普通教室の遮熱カーテン設置学校数(校)			評価	A
		目標値	7	実績値	11	達成率	157%
		評価理由	-				
事業概要	普通教室に遮熱カーテンを設置し、児童・生徒の円滑な学習を進めるとともに学校の省エネ化を進める。						
R7 結果	各小学校の普通教室に遮熱カーテンを設置する。						
R8 課題	各小学校の普通教室に遮熱カーテンを設置する。						

所属	学校管理課						数値評価
名称	新規 中学校遮熱カーテン設置事業	R7 指標	中学校普通教室の遮熱カーテン設置学校数(校)			評価	A
		目標値	3	実績値	5	達成率	167%
		評価理由	-				
事業概要	普通教室に遮熱カーテンを設置し、児童・生徒の円滑な学習を進めるとともに学校の省エネ化を進める。						
R7 結果	各中学校の普通教室に遮熱カーテンを設置する。						
R8 課題	各中学校の普通教室に遮熱カーテンを設置する。						

施策の方針4　ライフスタイルを転換する

■　基本施策1　省エネルギー行動の普及・促進

所属	秘書広報課						数値評価
名称	エコドライブの普及・啓発	R7 指標	ガソリン車(軽自動車)の燃費(km/l)			評価	A
		目標値	10.7	実績値	10.8	達成率	101%
		評価理由	-				
事業概要	省エネルギー行動の普及・促進のため、エコドライブやエコドライブマスターについての情報提供を行い、エコドライブの普及を進める。						
R7 結果	公用車の窓口にポスターを掲示し、エコドライブやエコドライブマスターについての情報を周知することで、エコドライブの普及を進めた。						
R8 課題	エコドライブやエコドライブマスターについての情報提供を継続し、公用車貸出窓口でのポスター掲示を通じてエコドライブの普及を進める。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	環境管理制度認証登録支援事業費補助事業	R7 指標	環境管理制度認証登録支援事業費補助金交付件数(件)			評価	E
		目標値	5	実績値	0	達成率	0%
		評価理由	-				
事業概要	事業者の環境配慮の取組を促進するため、新たに KES 環境マネジメントシステム・スタンダードを認証取得した事業者を対象に経費の一部を補助する。						
R7 結果	ホームページや商工会議所会員事業者に対して、チラシを通じて補助事業を周知したが、申請は無かった。						
R8 課題	新規会員事業者へ制度を周知するため、商工会議所会員事業者への広報や、その他効果的な広報の手法を検討して行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	エコアクション推進事業	R7 指標	エコ・アクション・ポイント会員登録者数(人)			評価	D
		目標値	10,000	実績値	2,828	達成率	28%
		評価理由	-				
事業概要	家庭の温室効果ガス排出の削減を図るため、全国共通ポイントプログラムである「エコ・アクション・ポイント」を活用し、エコ活動や環境イベントへの参加などにポイントを付与する。ポイントは商品や環境寄付などと交換できる。						
R7 結果	利用者が気軽に取り組める新規エコアクション項目の作成や環境関連イベントで本事業の周知啓発活動を実施した。						
R8 課題	目標の登録者数達成に向けて、利用者が気軽に取り組める新規エコアクション項目を増やすことや SNS を通じた効果的な広報を行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	緑のカーテンの普及・育成事業	R7 指標	緑のカーテン育成参加者 延べ人数(人)			評価	A
		目標値	65	実績値	65	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	庁舎の省エネ化を進めるとともに、市民に普及・啓発を図るため、緑のカーテンを育成する。						
R7 結果	eco ット宇治と市民ボランティアである緑のカーテン育成パートナーの協働により、議会棟で緑のカーテンの育成を行った。						
R8 課題	eco ット宇治と市民ボランティアである緑のカーテン育成パートナーの協働により、議会棟で緑のカーテンの育成を行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	省エネルギー等に関する取組	R7 指標	省エネ・節電の取組回数(回)			評価	A
		目標値	2	実績値	2	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	省エネルギー行動の普及を進めるため、市役所の省エネ・節電の取組を行う。						
R7結果	夏にクールビズ、冬に重ね着を励行し、通年を通して省エネ・節電の取組を行った。						
R8課題	夏にクールビズ、冬に重ね着を励行する取組を行い、通年を通して省エネ・節電の取組を行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	緑のカーテンの普及啓発	R7 指標	緑のカーテン講習会参加者数 (人)			評価	A
		目標値	50	実績値	54	達成率	108%
		評価理由	-				
事業概要	緑のカーテンを普及啓発するため、緑のカーテン講習会、イベントでの啓発、ゴーヤの種の配布などを行う。						
R7結果	緑のカーテン講習会を実施し、市公共施設に苗を配付した。【講習会　実施回数:2 回、参加者:54 人、苗を配付した施設数:15 か所】						
R8課題	講習会や公共施設へのゴーヤの種や苗の配布を通じて緑のカーテン普及啓発を行う。【目標　講習会の参加者数:50 人、苗を配付した施設数:13 か所】						

所属	環境企画課						数値評価
名称	家庭用雨水タンク設置事業費補助事業	R7 指標	家庭用雨水タンク設置事業費補助金交付件数(件)			評価	B
		目標値	17	実績値	13	達成率	76%
		評価理由	-				
事業概要	雨水の有効活用、防災意識の向上を目的に、自宅に雨水タンクを設置する人(個人)に対し、経費の一部を補助する。						
R7結果	80 ﾘｯﾄﾙ以上の雨水タンクを新たに購入設置した人に、補助金を交付した。						
R8課題	ホームページを通じて効果的に補助制度の広報を行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	クールスポット事業	R7 指標	クールスポット協力施設数(か所)			評価	A
		目標値	29	実績値	32	達成率	110%
		評価理由	-				
事業概要	夏季の省エネの取組及び熱中症予防対策のため、市内の公共施設や民間協力施設において、家庭の冷房使用を抑えつつ、誰もが涼しく過ごせる空間を市民に提供する。						
R7結果	市内公共施設及び民間協力施設にクールスポットを設置した。						
R8課題	市内公共施設及び民間協力施設にクールスポットを設置する。また、ホームページ等を通じてクールスポット協力施設を募る。						

所属	健康づくり推進課						数値評価
名称	クールスポット事業	R7 指標	クールスポットの民間協力施設数（か所）			評価	B
		目標値	5	実績値	3	達成率	60%
		評価理由	-				
事業概要	夏季の省エネの取組及び熱中症予防対策のため、市内の公共施設や民間協力施設において、家庭の冷房使用を抑えつつ、誰もが涼しく過ごせる空間を市民に提供する。						
R7 結果	市内公共施設及び民間協力施設にクールスポットを設置するため、民間施設に協力依頼を行った。						
R8 課題	市内公共施設及び民間施設等にクールスポットを設置し熱中症予防および健康づくりの取組を進める。						

■ 基本施策2 デコ活の普及・促進

所属	環境企画課						数値評価
名称	デコ活の普及促進	R7 指標	広報誌掲載回数（回）			評価	A
		目標値	2	実績値	2	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	ゼロカーボン社会に向けて環境省が推進する国民運動「デコ活」の普及を図るため、デコ活アクション（省エネ家電への買い替え、住宅の断熱化、食品ロスの削減など）の周知を図る。						
R7 結果	市政だよりでデコ活の概要や取組内容を紹介し、市民に周知した。また、エコ・アクション・ポイントを通じて省エネ家電への買い替えなどのデコ活アクションを促した。						
R8 課題	市政だよりでの掲載の他に、eco ット広報誌での掲載を通じて啓発する。						

■ 基本施策4 食品等の地産地消の推進

所属	農林茶業課						数値評価
名称	新規 地産地消の推進	R7 指標	山城マルシェ実施回数（回）			評価	A
		目標値	7	実績値	7	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	地元農産物の認知度向上及び消費拡大を目指し、京都府と共催で「山城マルシェ」を開催し、地産地消の推進や地域農業の活性化を図る。						
R7 結果	地産地消の推進、市内産農産物の PR を図ることができた。						
R8 課題	農業者の積極的な参加を促す。						

所属	健康づくり推進課						数値評価
名称	食育だよりの発行 （再掲 2-1-2）	R7 指標	食育だより発行回数(回)			評価	A
		目標値	12	実績値	12	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	食育啓発のため、毎月 19 日の「食育の日」に合わせ、「食育だより」を発行する。						
R7 結果	食育だよりや食育だよりバックナンバーにおいて啓発を行った。						
R8 課題	地産地消や食品ロスも取り入れた食育啓発を行う。						

■ 基本施策5 グリーン購入・調達の推進

所属	環境企画課						数値評価
名称	グリーン購入の推進	R7 指標	グリーン購入等の啓発回数(回)			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	グリーン購入・調達の推進を図るため、市役所のグリーン購入が進むよう、周知・啓発を行う。						
R7 結果	UA 研修(所属長・環境推進員研修)において、各課でグリーン購入に努めるよう啓発を行った。【実施回数:1 回、参加者:118 人】						
R8 課題	研修の際に、各課にグリーン購入に努めるよう啓発を行う。【目標 実施回数:1 回】						

所属	会計室						数値評価
名称	用品調達基金のグリーン購入率の向上、活用の推進	R7 指標	購入する基金用品におけるグリーン購入法適合品の割合(%)			評価	A
		目標値	80	実績値	94	達成率	117%
		評価理由	-				
事業概要	「低炭素化」の実現のため、本来業務の改善、環境改善につながる取組として、用品調達基金のグリーン購入率の現状の水準を堅持しつつ、さらに改善を目指して前向きに取組み、活用を一層推進する。						
R7 結果	基金用品について、グリーン購入法適合品の割合が 82 品中 50 品となっている。現在、追加購入した 16 品においても 15 品を適合品としており、可能な限り適合品の購入することで、各課の適合品の購入を促進した。						
R8 課題	グリーン購入法適合品の割合を 80%とするよう契約内容を精査するとともに各課のグリーン購入を進めるため、全庁掲示板において、基金用品でグリーン商品を取り扱っている旨を周知する。						

基本目標2　廃棄物ゼロ(ゼロエミッション)を目指す循環型社会の推進

施策の方針1　ごみを削減する

■　基本施策1　プラスチックごみの削減

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	新規 プラスチック資源の分別収集の推進	R7 指標	プラマーク回収量(t)			評価	A
		目標値	1,687	実績値	1,721	達成率	102%
		評価理由	-				
事業概要	プラスチック資源の分別収集を推進することにより、再資源化を進め、プラスチックごみの減量につなげる。						
R7結果	プラスチック資源の分別収集に向け、市政だよりを活用し周知を行った。また、希望される団体等に向け、出前講座を実施した。【市政だより掲載回数:2 回、出前講座実施回数:10 回】						
R8課題	引き続き、希望される団体等に向け、出前講座を実施する。						

■　基本施策2　食品ロスの削減

所属	職員厚生課						進捗度評価
名称	市役所食堂での盛り付けの工夫	R7 指標	-			評価	A
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	年間を通じてセルフでの盛りつけを継続し、利用者が適量を選択できる環境を維持しているため。				
事業概要	環境負荷の低減を図るため、ご飯の盛り付けをセルフとし、食品ロスの削減に取り組む。						
R7結果	各々にご飯を盛り付けてもらうことで、食品ロスを削減した。						
R8課題	ご飯とみそ汁のセルフでの盛りつけを継続する。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	フードドライブ	R7 指標	フードドライブ実施回数(回)			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	食品ロスの削減を目的にイベント時に、家庭などで余っている未使用の食品を集め、NPO 法人を通じて、支援団体や福祉施設などに無償で提供する。						
R7結果	他課イベント参加時にフードドライブを開催した。						
R8課題	イベント実施時だけでなく、通年実施に向けて取組を進める。						

所属	健康づくり推進課						数値評価
名称	食育だよりの発行（再掲 1-4-4）	R7 指標	食育だより発行回数(回)			評価	A
		目標値	12	実績値	12	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	食育啓発のため、毎月 19 日の「食育の日」に合わせ、「食育だより」を発行する。						
R7 結果	食育だよりや食育だよりバックナンバーにおいて啓発を行った。						
R8 課題	地産地消や食品ロスも取り入れた食育啓発を行う。						

施策の方針2　3R+Renewable を推進する

■　基本施策1　ごみの発生抑制

所属	中央図書館						進捗度評価
名称	図書館資料の修理	R7 指標	-			評価	A
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	汚損・破損した図書館資料を修理し、資料の保存と継続的な利用を行えている。また、本の取扱いマナー向上を図るため、マナーキャンペーンを開催、本の取扱説明書をリニューアルのうえ配布し周知に努めた。				
事業概要	ごみの発生を抑制するため、利用者による汚損・破損が生じた図書館資料について、修理を行い、資料の保存と継続的な利用を図る。						
R7 結果	ボランティアサークルによる汚破損等資料の修理作業に加え、汚破損箇所のある資料には、シールを貼るなどして利用者に周知した。修復可能な資料は可能な範囲で修理を行い、再度利用した。またマナーキャンペーンを行い、汚破損資料の展示と本を扱う注意点を記載したチラシを配布した。						
R8 課題	落書きや水濡れなど状態が酷い資料においては、修理が困難なため除籍せざるを得ない。そのため利用者には資料を大切に扱うように改めて周知する。						

■　基本施策2　リサイクルの推進

所属	環境企画課						数値評価
名称	新規 リサイクル・リユースの推進	R7 指標	啓発事業の実施回数(回)			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	温室効果ガスの排出削減を図るため、eco ット宇治と協働し、リサイクルやリユースの市民啓発を行う。						
R7 結果	小学生の親子を対象に、牛乳パックを利用した工作教室を行い、資源を大切にしてゴミを減らす取組を行った。また、eco ット広報誌でプラスチックごみの分別について取り上げた。						
R8 課題	工作教室は参加者に好評だったため、次年度は大人を対象としたリユース工作を行う。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	新規 制服リユース事業	R7 指標	制服の回収量(着)			評価	A
		目標値	1,400	実績値	1,567	達成率	112%
		評価理由	-				
事業概要	使わなくなった制服等を回収し、リユース品として無償提供することで、ごみの減量につなげる。						
R7結果	これまで制服等を窓口に持ち込みしていただいていたが、通年に渡り、制服等を無料で自宅まで回収する体制を整えた。						
R8課題	制服等の在庫数を維持できるよう周知を図る。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	海外リユース事業	R7 指標	リユース品回収量(t)			評価	A
		目標値	58	実績値	61	達成率	105%
		評価理由	-				
事業概要	使わなくなった状態の良いかばん、くつ、ぬいぐるみ、衣類などを集め、海外で再使用することにより、ごみの減量につなげる。						
R7結果	海外リユースの回収箱を市内公共施設(3 か所)に設置し、リユース品の回収を行った。						
R8課題	公共施設の他に、スーパーなどで新設拠点が設置できないか研究する。						

所属	長寿生きがい課						数値評価
名称	介護用品リサイクル事業	R7 指標	介護用品貸出台数(特殊寝台と車いすの合計)(台)			評価	E
		目標値	30	実績値	4	達成率	13%
		評価理由	-				
事業概要	介護用品のリサイクルを進めるため、市民等から寄付を受けた福祉用具(特殊寝台、車いす、入浴用車いす、エアーマット)を在宅ねたきり者等に貸与する。						
R7結果	市民等から寄付を受けた福祉用具を必要とする方に貸与した。【貸出台数:特殊寝台 3 台、車いす 1 台】						
R8課題	R7 年度で事業が終了した。						

所属	中央図書館						数値評価
名称	リサイクル市の開催	R7 指標	リサイクル市の実施回数(回)			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	図書館で除籍した再利用が可能な資料(図書・雑誌)等を有効活用するために、リサイクル市を実施し、市民に無料で資料を提供する。						
R7結果	除籍した図書・雑誌のうち再利用が可能な資料を市民に無料で提供し資源を有効利用した。また寄贈書のうち、図書館で受け入れしなかった図書についても市民に提供した。【実施回数:1 回、提供冊数:6,900 冊】						
R8課題	図書館で除籍した再利用が可能な資料(図書・雑誌)等を有効活用するために、リサイクル市を実施し、市民に無料で資料を提供する。						

所属	西宇治図書館						数値評価
名称	夏休みリサイクル工作教室・大人のリサイクル工作	R7 指標	リサイクル工作教室実施回数(回)			評価	A
		目標値	2	実績値	2	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	城南衛生管理組合の協力でイベントを実施し、廃ガラスや古布を使って風鈴やタペストリーの作成を行う。また、リサイクルの仕組みやごみの分別方法などを講師から学ぶ環境学習を取り入れる。						
R7 結果	城南衛生管理組合の協力でイベントを実施し、廃ガラスを使って風鈴やモザイクアートの作成をした。また、リサイクルの仕組みやごみの分別方法などを講師から学び、環境学習に役立てることができた。						
R8 課題	市民に環境への関心を持ってもらうために、小学生向けと大人向けにリサイクル工作教室を行う。【目標　小学生向け教室:1 回、大人向け教室:1 回】						

■ 基本施策3　3R+Renewable の普及・啓発の充実

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	不法投棄、持ち去り対策(再掲 3-2-他)	R7 指標	防犯パトロール回数(回)			評価	A
		目標値	30	実績値	43	達成率	143%
		評価理由	-				
事業概要	不法投棄や資源物の持ち去りなどの違法行為を防止するため監視を行う。						
R7 結果	不法投棄や資源物の持ち去り行為の防止に向け、警察と合同防犯パトロールを実施した。【防犯パトロール:全 43 回実施(内 警察合同防犯パトロール:5 回実施)】 また、持ち去り対策として、通年に渡って無料資源収集を実施した。【水曜日と木曜日の午後に実施】						
R8 課題	次年度も警察との合同防犯パトロールが実施できるよう、調整を行う。 また、無料資源収集の拡充を検討する。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	3R＋Renewable の普及、啓発	R7 指標	イベント実施・参加数(回)			評価	A
		目標値	3	実績値	5	達成率	167%
		評価理由	-				
事業概要	3R の普及啓発を推進する。また、拠点回収及びイベント等を活用し、再資源化を推進する。						
R7 結果	まち美化推進課主催のイベントの実施や、関係課主催のイベントへの参加を通じ、3R の普及啓発活動を行った。						
R8 課題	各イベントでの啓発を行うなど取組を推進する。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	環境教育(再掲 5-1-2)	R7 指標	環境教育実施学校・園数(か所)			評価	A
		目標値	57	実績値	59	達成率	104%
		評価理由	-				
事業概要	幼保こども園、小学校、中学校に応じた内容で環境教育を実施し、循環型社会への関心を深める。						
R7 結果	未来を担う子どもたちに向け、ごみの分別や3R、SDG'sなどの内容で環境教育を実施した。 【実施回数:幼保こども園 33 園、小学校 21 校、中学校 5 校】						
R8 課題	中学校での実施拡充に向け、今後も働きかける。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	出前講座(再掲 5-1-3)	R7 指標	出前講座実施団体数(団体)			評価	A
		目標値	15	実績値	14	達成率	93%
		評価理由	-				
事業概要	町内会、自治会及び市民グループへ職員が出向き、ごみの分別や3R の普及・啓発を行い、循環型社会への関心を深める。						
R7 結果	各団体のニーズに応じたテーマで実施し、循環型社会への関心を深める機会となった。						
R8 課題	実施団体の拡充を図る。						

施策の方針3　廃棄物を適正に処理する

■　基本施策1　ごみの分別の促進

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	古紙等集団回収事業	R7 指標	古紙類回収量(kg)			評価	A
		目標値	5,508,640	実績値	4,939,286	達成率	90%
		評価理由	-				
事業概要	地域住民による、古紙類の集団回収量に対して報奨金を交付し、資源化の促進を図る。						
R7 結果	新聞紙・雑誌・ダンボール・古布等を対象品目として、回収量 1kg 当たり 5 円の報償金を実施団体に交付し、古紙類の資源回収に取り組んだ。						
R8 課題	古紙の集団回収量は年々減少傾向にあることから、広報誌、HP、SNS などを活用して周知啓発の強化を図る。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	資源物の拠点回収	R7 指標	資源物回収量(kg)			評価	A
		目標値	31,960	実績値	43,790	達成率	137%
		評価理由	-				
事業 概要	ごみの分別収集を徹底するとともに、拠点回収による分別品目拡大を図る。						
R7 結果	資源物の回収拠点を市内公共施設(2 施設)に新設した。充電池回収箱の新設を行った。						
R8 課題	公共施設の他に、スーパーなどで新設拠点が設置できないか研究する。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	新規 ふれあい収集事業	R7 指標	利用世帯数(世帯)			評価	A
		目標値	579	実績値	624	達成率	108%
		評価理由	-				
事業 概要	ごみ出しが困難な高齢者や障がい者世帯などを対象とした戸別収集を行う。						
R7 結果	ごみ出しが困難な高齢者や障がい者世帯などを対象に、戸別収集を行った。						
R8 課題	サービスを必要とする方に対して、確実に支援が届くよう、引き続き関係部署と連携して情報の把握に努める。						

基本目標3　安全で安心な暮らしを守る生活環境の保全（生活環境）

施策の方針1　安らぎのある健全な生活環境を守る

■　基本施策1　大気や水質、騒音等の環境監視

所属	環境企画課						義務法令
名称	大気汚染の調査・監視等	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	雨水のイオン分析、簡易測定法による二酸化窒素の測定、土壌等にあるダイオキシン類調査を行う。（根拠法令：大気汚染防止法、京都府環境を守り育てる条例、宇治市環境保全基本条例、ダイオキシン類対策特別措置法）						
R7 結果	雨水のイオン分析、簡易測定法による二酸化窒素の測定、土壌等にあるダイオキシン類調査を行った。 【実施数:雨水のイオン分析1か所×年 3 回、簡易測定法による二酸化窒素の測定 17 か所×年 4 回、土壌等にあるダイオキシン類調査 10 か所×年1回】						
R8 課題	測定値が環境基準内であること。						

所属	環境企画課						義務法令
名称	騒音・振動の発生源の調査・監視等	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	生活環境騒音、道路交通騒音・振動、鉄道騒音・振動の測定、建設工事や工場、カラオケ店など事業所の騒音・振動に対する法律や条例に基づく指導を行う。（根拠法令：騒音規制法、振動規制法、京都府環境を守り育てる条例）						
R7 結果	生活環境騒音、道路交通騒音、鉄道騒音の測定を行った。建設工事や工場、カラオケ店など事業所の騒音・振動指導に関しては、相談が入り次第随時実施した。【実施数:生活環境騒音 15 か所、道路交通騒音 13 か所、鉄道騒音 3 か所】						
R8 課題	測定値が環境基準内であること。						

所属	環境企画課						義務法令
名称	水質の調査・排出源の監視等	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	工場、事業所などへの立入調査や水質測定を行う。家庭への生活排水対策や、工場・事業所への汚染物質の排出削減について啓発を行う。（根拠法令：水質汚濁防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法、京都府環境を守り育てる条例、宇治市環境保全基本条例）						
R7 結果	河川、木幡池、事業所排水の水質測定を行った。 【実施数:中小河川 10 か所×年 4 回、支川 13 か所×年 2 回、自然水系 8 か所×年 1 回、木幡池 14 地点×年 1 回、事業所排水 29 か所】						
R8 課題	測定値が環境基準内であること。						

所属	環境企画課					義務法令
名称	合併浄化槽の普及・適正な維持管理	R7 指標	-		評価	-
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	-			
事業概要	下水道整備計画外の地域における合併浄化槽の設置促進に向けた補助金を交付する。また、法定検査において不適正であった浄化槽の管理者に指導する。(根拠法令:浄化槽法)					
R7 結果	合併浄化槽の設置促進に向けた補助金を交付した。 【交付件数:2 件】					
R8 課題	合併浄化槽の設置促進に向けた補助金の交付を行うことで、生活環境の改善を目指す。					

所属	維持課					数値評価
名称	道路維持修繕事業	R7 指標	取組対象工事の実施回数(回)		評価	A
		目標値	10	実績値 10	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	植樹帯や高機能舗装の導入、舗装面の段差解消による騒音・振動の軽減を図る。					
R7 結果	植樹帯や高機能舗装の導入、舗装面の段差解消といった騒音・振動の軽減策を実施した。					
R8 課題	道路の適切な維持管理を行う。					

所属	開発指導課					義務法令
名称	開発指導事務	R7 指標	-		評価	-
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	-			
事業概要	開発事業者と協議し、道路や交差点の整備、改良により渋滞を緩和し、大気汚染物質の排出削減、騒音、振動の軽減を図る。また、水質汚濁防止や河川・排水路の改修など、適正な管理に努めるよう、指導する。(根拠法令:宇治市まちづくり・景観条例)					
R7 結果	宇治市開発事業ガイドライン等に基づき、開発事業者と事前に協議を行い、道路幅員、水質汚濁防止、河川・排水路の改修など、適正な管理について指導し、協力を求めた。					
R8 課題	宇治市開発事業ガイドライン等に基づき、開発事業者と事前に協議を行い、良好な居住環境の整備に努める。					

所属	配水課					義務法令
名称	基準に合致した建設機械の使用について指導	R7 指標	-		評価	-
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	-			
事業概要	建設工事において、法律や条例における騒音・振動基準を順守するように指導する。(根拠法令:特定建設作業(騒音・振動規制法))					
R7 結果	全ての発注工事において指導した。R7 年度の発注工事において法律等に抵触する事案は無かった。					
R8 課題	建設工事における騒音・振動基準の遵守について受注者に指導する。					

所属	下水道施設保全課					義務法令
名称	基準に合致した建設機械の使用について指導	R7 指標	-		評価	-
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	-			
事業概要	建設工事において、法律や条例における騒音・振動基準を順守するように指導する。(根拠法令:特定建設作業(騒音・振動規制法))					
R7 結果	全ての発注工事において指導した。					
R8 課題	法律や条例を遵守し、全ての発注工事において指導する。					

所属	水管理センター					義務法令
名称	より美しく安全な川をつくる	R7 指標	-		評価	-
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	-			
事業概要	東宇治浄化センター放流水の水質測定を実施する。(根拠法令:水質汚濁防止法、下水道法施行令)					
R7 結果	適切な水処理運転を行うため、水質測定を実施し、水質管理を行った。					
R8 課題	水処理運転を行うための工程水質測定を実施し、排水基準値を守る。					

施策の方針2 美しいまちをつくる

■ 基本施策1 環境美化活動の推進

所属	総務課					数値評価
名称	クリーン宇治運動	R7 指標	クリーン宇治運動合計参加者数(人)		評価	D
		目標値	135	実績値 40	達成率	30%
		評価理由	-			
事業概要	宇治商工会議所を事務局としているクリーン宇治運動推進協議会に常任理事として参加し、宇治市内の美化と緑化を推進するため、年 3 回の美化清掃期間に市職員で美化清掃に取り組む。					
R7 結果	年 3 回の美化清掃期間のうち 1 回に宇治市が受け持つ清掃区域(太陽が丘入口～旧中消防署)の清掃を行った。他 2 回は天候不良のため中止。 【実施回数:1 回、参加者数:合計 40 人】					
R8 課題	年 3 回の美化清掃期間に宇治市が受け持つ清掃区域(太陽が丘入口¯旧中消防署)を清掃を行う。【目標 実施回数:3 回、参加者数:合計 135 人】					

所属	環境企画課					数値評価
名称	環境美化啓発活動	R7 指標	環境美化活動実施回数(回)		評価	C
		目標値	2	実績値 1	達成率	50%
		評価理由	-			
事業概要	市民ボランティアと協働で地域の清掃活動を実施する。また、市民ボランティアへのグリーンベスト等の物品貸与やポイ捨て禁止などの啓発看板の提供を行う。					
R7 結果	美化重点地域での美化活動を行った。2 回開催を予定していたが、その内 1 回は雨天により中止。					
R8 課題	市民や観光客等にポイ捨て抑制の意識を向上させる。					

■ 基本施策2 空き地・空き家の適正管理

所属	環境企画課						義務法令
名称	不良状態の空き地所有者に対する指導等	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	新規に受け付けた空き地の現地調査を行い、雑草の繁茂している空き地の所有者に指導する。また、継続して相談を受けている空き地を定期的に見回り、雑草の繁茂している空き地の所有者に指導する。(根拠法令:宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例)						
R7 結果	年 2 回の一斉調査を行った。【処理率:100%】						
R8 課題	雑草の繁茂が確認された空き地の所有者に文書通知を行い、処理されるよう助言・指導等を行う。						

所属	住宅課						数値評価
名称	空き家等対策関連事業	R7 指標	空き家アドバイザーの派遣件数(件)			評価	C
		目標値	20	実績値	10	達成率	50%
		評価理由	-				
事業概要	「宇治市空き家等対策計画」に基づき、管理不十分な空き家等の発生を抑止し、安全で安心なくらしを守るため、空き家等アドバイザーの派遣や空き家情報誌の作成、固定資産税通知に啓発チラシを同封する。						
R7 結果	空き家等アドバイザーの派遣、空き家に関する様々な情報を発信する空き家情報誌を発行した。また、固定資産税通知に空き家に関する啓発チラシを同封した。【空き家アドバイザー派遣:10 件、空き家情報誌発行部数:2,500 部、啓発チラシ:73,000 部】						
R8 課題	R7 年度は、空き家アドバイザーの派遣実績が目標に届かなかったので、更なる周知を図り、利用者数の増加を目指す。【目標 空き家アドバイザーの派遣:20 件、空き家情報誌発行部数:2,500 部、固定資産税通知同封啓発チラシ:73,000 部】						

■ その他関連する取組

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	新規 不法投棄、持ち去り対策(再掲 2-2-3)	R7 指標	防犯パトロール回数(回)			評価	A
		目標値	30	実績値	43	達成率	143%
		評価理由	-				
事業概要	不法投棄や資源物の持ち去りなどの違法行為を防止するため監視を行う。						
R7 結果	不法投棄や資源物の持ち去り行為の防止に向け、警察と合同防犯パトロールを実施した。【防犯パトロール:全 43 回実施(内 警察合同防犯パトロール:5 回実施)】 また、持ち去り対策として、通年に渡って無料資源収集を実施した。【水曜日と木曜日の午後に実施】						
R8 課題	次年度も警察との合同防犯パトロールが実施できるよう、調整を行う。 また、無料資源収集の拡充を検討する。						

所属	建設総務課						義務法令
名称	放置自動車等防止対策事業	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	公共の場所の機能保全及び市民の快適な生活環境の保全を図るため、「宇治市放置自動車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例」並びに同施行規則に基づき、路上放置車両の適正処理と再発防止策などを講じる。（根拠法令：宇治市放置自動車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例）						
R7 結果	R7 年度は 2 台の放置自動車等を発見し、内 1 台は所有者へ連絡を行い、放置場所から移動された。残り 1 台は所有者へ連絡を行う前に放置場所から移動された。						
R8 課題	所有者への連絡・返還を行うとともに、条例並びに規則に基づき、撤去・保管を行う。						

所属	維持課						数値評価
名称	道路維持修繕事業	R7 指標	水路や道路側溝の清掃実施数（回）			評価	A
		目標値	30	実績値	30	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	必要に応じて水路や道路側溝の清掃を行う。						
R7 結果	必要に応じて水路や道路側溝の清掃を行った。						
R8 課題	道路の適正な維持管理を行う。						

所属	交通政策課						数値評価
名称	自転車等駐車場管理事業	R7 指標	放置自転車撤去台数（台）			評価	A
		目標値	100 以下	実績値	114	達成率	88%
		評価理由	-				
事業概要	市内 14 駅中 11 駅前周辺に 16 か所の市営自転車等駐車場を設置・運営することにより、駅周辺道路等の駐車秩序の確立や、利用者の利便性の向上を図る。						
R7 結果	16 か所の自転車等駐車場を管理運営し、駐車秩序や利便性の向上を図ることで、放置自転車の防止に努めた。						
R8 課題	施設の老朽化の問題や利用者ニーズなどを踏まえつつ、利便性の向上や施設規模の適正化を図る。						

所属	交通政策課						数値評価
名称	自転車放置防止対策事業	R7 指標	放置自転車撤去台数（台）			評価	A
		目標値	100 以下	実績値	114	達成率	88%
		評価理由	-				
事業概要	市内14駅前周辺を自転車放置禁止区域に指定し、放置自転車に対する指導及び撤去を行い、快適な歩行空間を確保する。						
R7 結果	放置自転車に対して適正指導を行い、撤去した。						
R8 課題	啓発の強化や放置自転車の撤去等による取り締まりにより自転車の駐車秩序の確保に向けた取組を進める。						

基本目標4　自然、文化、人が共生する豊かな都市環境の保全（環境共生）

施策の方針1　豊かな自然環境を守る

■　基本施策1　生物多様性の保全

所属	農林茶業課						数値評価
名称	アライグマ及びヌートリア防除事業	R7 指標	アライグマ及びヌートリアの捕獲数（頭）			評価	A
		目標値	46	実績値	40	達成率	87%
		評価理由	-				
事業概要	アライグマ・ヌートリアによる農業被害・生活環境被害を防止するために必要な捕獲・措置を行う。						
R7 結果	アライグマ・ヌートリアによる農業被害・生活環境被害を防止するために捕獲・措置を行った。【アライグマ捕獲:40 頭、殺処分:40 頭】						
R8 課題	アライグマ・ヌートリアによる農業被害・生活環境被害を防止するために必要な捕獲・措置を行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	外来生物に関する情報提供	R7 指標	ホームページによる情報発信回数（回）			評価	A
		目標値	1	実績値	2	達成率	200%
		評価理由	-				
事業概要	発見時に適切な対応ができるよう、外来生物に関する習性等について、国・京都府と情報を共有する。また、ホームページ等を通じて市民への情報発信を行う。						
R7 結果	クビアカツヤカミキリ等の外来生物について、ホームページを通じて市民への情報発信を行った。						
R8 課題	国・京都府と情報共有を行い、ホームページを通じて市民への情報発信を行う。						

■　基本施策2　自然環境の保全

所属	開発指導課						義務法令
名称	開発指導事務	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	周辺環境を考慮し生態系の保全に配慮するよう、開発事業者に指導する。（根拠法令：宇治市まちづくり・景観条例）						
R7 結果	宇治市開発事業ガイドライン等に基づき、開発事業者と事前に協議を行い、周辺環境を考慮し生態系の保全に配慮するよう指導し、協力を求めた。						
R8 課題	宇治市開発事業ガイドライン等に基づき、開発事業者と事前に協議を行い、良好な居住環境の整備に努める。						

■ 基本施策3 豊かな自然の保全・利活用

所属	公園緑地課						義務法令
名称	京都府の条例に基づく緑化促進	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	京都府地球温暖化対策条例に基づく建築物等緑化促進制度について、申請者から提出された書類の審査及び現地調査を行い、義務付けられた緑化が適正に行われているか確認する。(根拠法令:京都府地球温暖化対策条例)						
R7 結果	京都府条例に基づき、申請者から提出された書類について、審査及び現地調査を行い、義務付けられた緑化が適正に行われているか、確認した。						
R8 課題	京都府条例に基づき、申請者から提出された書類について、審査及び現地調査を行い、義務付けられた緑化が適正に行われているか、確認する。						

所属	生涯学習課						数値評価
名称	総合野外活動センター管理運営費	R7 指標	施設年間利用者数(人)			評価	A
		目標値	107,000	実績値	96,163	達成率	90%
		評価理由	-				
事業概要	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供し、生涯学習を推進する。						
R7 結果	笠取地域の自然や文化資源、環境資源を活用した総合野外活動センターならではのイベントやプログラムなどを通じて、自然環境保護の意識を啓発した。						
R8 課題	笠取地域の自然や文化資源、環境資源を活用した総合野外活動センターならではのイベントやプログラムなどを通じて、自然環境保護の意識を啓発する。						

■ その他関連する取組

所属	農林茶業課						数値評価
名称	新規 優良高品質茶の生産支援	R7 指標	補助金申請件数(件)			評価	A
		目標値	77	実績値	64	達成率	83%
		評価理由	-				
事業概要	長い歴史の中で培われてきた高品質茶の生産と環境にやさしい茶づくりを支援する。						
R7 結果	高品質茶の生産と環境にやさしい茶づくりへの支援を行い、優良高品質茶の生産性向上を図ることができた。						
R8 課題	補助事業が積極的に活用されるよう、周知・案内を行う。						

所属	農林茶業課						数値評価
名称	新規 宇治茶の茶園保全と担い手の育成	R7 指標	実施面積(a)			評価	A
		目標値	51.6	実績値	46.5	達成率	90%
		評価理由	-				
事業概要	宇治茶の伝統を守り伝えるため、茶園面積の減少抑制と優良茶園の保全に努めるとともに、担い手の育成を支援する。						
R7結果	改植に対して支援を行い、優良茶園の保全を促進することができた。						
R8課題	補助事業が積極的に活用されるよう、周知・案内を行う。						

施策の方針2　自然と文化が調和した都市環境をつくる

■　基本施策1　歴史・文化や景観を守り育てるまちづくりの推進

所属	観光振興課						数値評価
名称	宇治川周辺の憩いの提供と美しい景観づくり	R7 指標	宇治市民の満足度(観光客の受入環境の整備)(%)			評価	C
		目標値	40 (R11)	実績値	20	達成率	50%
		評価理由	-				
事業概要	大吉山や宇治川周辺の美化など、良好な環境維持に努めるとともに、トイレの改修やベンチ等の休憩施設や観光施設等、質の高い環境整備に取り組む。						
R7結果	トイレの改修や観光地の清掃、草木の剪定などを行った。						
R8課題	観光地の環境維持と整備に努める。						

所属	観光振興課						数値評価
名称	お茶に関する伝統行事の啓発	R7 指標	日本人満足度 宇治茶(施設、店舗等含む)(%)			評価	A
		目標値	95 (R11)	実績値	91	達成率	96%
		評価理由	-				
事業概要	宇治茶まつりや献茶、萬福寺での全国煎茶道大会など、市内で行われるお茶に関する伝統行事の周知に努める。						
R7結果	市内で行われるお茶に関する行事の情報発信を行った。						
R8課題	市内で行われるお茶に関する伝統行事や宇治茶文化の情報発信を行う。						

所属	観光振興課						数値評価
名称	伝統行事の継承と活用	R7 指標	日本人満足度 寺院・神社、名所・旧跡(%)			評価	A
		目標値	95 (R11)	実績値	95	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	宇治川の鵜飼や大幣神事などの宇治の伝統行事を継承しながらその広報にも努め、集客を図る。						
R7 結果	宇治市観光協会が実施する鵜飼事業やあがた祭りの安全対策事業への補助を行った。						
R8 課題	伝統行事の継承を促し、魅力を発信する。						

所属	観光振興課						数値評価
名称	豊富な歴史遺産との連携	R7 指標	日本人満足度 寺院・神社、名所・旧跡(%)			評価	A
		目標値	95 (R11)	実績値	95	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	国宝萬福寺や三室戸寺等の社寺をはじめとした、多数の有形・無形の文化財が持つそれぞれの特徴や歴史、ストーリーを活かした観光振興や周遊性を高める広域的な取組を推進する。						
R7 結果	黄檗地域のにぎわい創出を目指し、萬福寺で開催された黄檗エンジョイフェスタの広報等への協力や、黄檗地区の周遊パンフレットを作成した。						
R8 課題	周遊性を高める広域的な取組を推進するため、周遊マップ等の作成や情報発信を行う。						

所属	文化スポーツ課						進捗度評価
名称	宇治田楽まつり	R7 指標	-			評価	A
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	宇治の文化の魅力を広く発信することができたため。				
事業概要	源氏ろまん事業の一つとして、平安時代の民俗芸能である田楽を市民のまつりとして復活、10 月第 3 土曜日に府立宇治公園にて開催する。						
R7 結果	R7 年 10 月 18 日(土)に(雨天のため)文化会館での実施となったが、宇治の文化の魅力を広く発信することができた。【参加者数:630 人】						
R8 課題	多くの方に参加いただけるよう、より一層の周知広報に取り組む。						

所属	歴史まちづくり推進課						義務法令
名称	都市景観形成対策事業	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	歴史・文化や景観を守り育てるまちづくりを進めるため、景観計画に基づく景観誘導や景観計画重点区域内での景観形成助成などにより良好な景観の保全を図る。(根拠法令:宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例)						
R7 結果	建築物の新築時等に景観計画に基づき景観誘導を図るとともに、より良い景観を形成する建築物等の改修工事に対して交付金を交付した。【景観形成助成件数:4 件】						
R8 課題	良好な景観の形成に向けて、市民や事業者に制度の周知を図るとともに、景観形成助成の積極的な活用の促進し、景観重要建造物の指定に向けて所有者と協議を進める。						

所属	歴史まちづくり推進課						進捗度評価
名称	歴史的風致の維持向上に資する事業の実施	R7 指標	-			評価	A
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	課題はあるが、個々の事業は着実に実行されており、成果を上げていると考えられるため。				
事業概要	歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的風致の認知を広げるための事業、宇治茶や地域の伝統産業の継承に関する事業、歴史・文化遺産に関する事業、景観に関する事業、観光振興に関する事業などを実施する。						
R7 結果	ホームページなどで情報発信を行い、宇治茶に関しては茶園への補助や品質向上に向けた取組を支援した。文化財の保存や修理に関しては、所有者と協議を行い補助を行った。景観に関しては、建物修景への支援や屋外広告物の整備に対して助成金を交付した。【交付件数:1 件】						
R8 課題	歴史的風致維持向上計画に記載された 28 の事業の横の連携を図り、相乗効果がうまれるように実施していく必要がある。R8 年度も事業に取り組み、歴史的風致の維持向上を図る。						

所属	歴史まちづくり推進課						進捗度評価
名称	文化的景観保存事業	R7 指標	-			評価	A
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	目標値を達成しており、重要な構成要素の保護に資することができたため。				
事業概要	重要文化的景観「宇治の文化的景観」を継承するための各種取組を実施する。						
R7 結果	重要文化的景観の「重要な構成要素」である建物の修理事業に補助金を交付した。【文化的景観保護推進事業補助金交付件数:1 件】						
R8 課題	「重要な構成要素」である建物の修理であり、補助事業であるため申請者との調整が非常に重要である。 【目標　文化的景観保護推進事業補助金交付件数:1 件以上】						

所属	博物館管理課						数値評価
名称	源氏物語ミュージアム企画展示費・特別企画展示費　講座等開催費	R7 指標	講座・展示実施回数(回)			評価	A
		目標値	27	実績値	38	達成率	141%
		評価理由	-				
事業概要	「源氏物語」や平安時代の歴史や文化に親しめる企画展示を実施するとともに、講座等教育普及事業を実施する。						
R7 結果	特別企画展や企画展のほか、連続講座や入門講座などの教育普及事業を実施した。【特別企画展:1 回、企画展:4 回、連続講座:10 回、入門講座:9 回、その他講座:14 回】						
R8 課題	展覧会や講座等を通じて環境保全の啓発を行う。						

所属	博物館管理課						数値評価
名称	歴史資料館展示活動費　教育普及活動費	R7 指標	講座・展示実施回数(回)			評価	B
		目標値	28	実績値	20	達成率	71%
		評価理由	-				
事業概要	宇治の歴史や文化に関する展覧会を実施するとともに、歴史講座や歴史資料を活用した小学校への出前授業などの教育普及事業を実施する。						
R7 結果	企画展のほか、外部講師による歴史講座や展覧会関連事業、出前授業などの教育普及事業を実施した。【企画展:5 回、外部講師による歴史講座:1 回、内部講師による歴史講座:2 回、子ども体験教室:1 回、出前授業:11 回】						
R8 課題	展覧会や講座等を通じて環境保全の啓発を行う。 西小倉地域の 3 小学校の統合に伴って市内小学校数が減少したため、次年度の目標値を修正する。						

■ 基本施策2 屋外広告物の規制

所属	歴史まちづくり推進課						義務法令
名称	屋外広告物許可事務	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	宇治市屋外広告物条例に基づき、広告物の面積及び色彩について基準を設けることで、宇治市の歴史・文化と調和した景観の保全を図る。(根拠法令:宇治市屋外広告物条例)						
R7 結果	宇治市屋外広告物条例の基準に基づき、屋外広告物掲出に係る許可事務を行った。						
R8 課題	条例に基づき、屋外広告物掲出に係る事務を行う。						

所属	歴史まちづくり推進課						義務法令
名称	違反広告物除却推進事業	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	禁止区域や禁止物件に掲出されている簡易除却できるはり紙・はり札・立看板などの違反広告物を除却することで、宇治市の歴史・文化と調和した景観の保全を図る。(根拠法令:宇治市屋外広告物条例、屋外広告物法、道路交通法、道路法)						
R7 結果	関係機関と共に違反広告物一斉撤去を 1 回実施し、はり紙・はり札等 4 枚の除却を行った。						
R8 課題	年数を重ねるごとに違反広告物が減少しており、効果があることから、簡易除却を行う。【目標　実施回数:1 回】						

■ 基本施策3 みどりの保全と緑化の推進

所属	農林茶業課						数値評価
名称	緑の募金並びに地域緑化推進事業	R7 指標	緑の募金額(円)			評価	A
		目標値	100,000	実績値	101,145	達成率	101%
		評価理由	-				
事業概要	市内企業や団体等からいただいた緑の募金を原資に、森林及び市街地内において、地域緑化推進事業(植樹事業)に取り組む。						
R7 結果	緑の募金を 101,145 円回収し、京都モデルフォレスト協会へ寄付した。						
R8 課題	緑の募金が集まるよう周知・案内する。						

所属	維持課						数値評価
名称	道路維持修繕事業	R7 指標	街路樹の伐採や植替えの実施数（回）			評価	A
		目標値	30	実績値	30	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	歩道の緑化や、街路樹の適切な管理により木陰を創出する。						
R7結果	歩道の緑化や、街路樹の適切な管理により木陰を創出した。枯損などの異常や巨木化した街路樹の伐採や植替えの実施。また、定期的な剪定を行った。						
R8課題	街路樹の成長に伴う巨木化や老朽化が進行しているものがあり、周辺環境に影響のない範囲で当該樹木の伐採や植替えを実施し適切な維持管理を行う。						

所属	公園緑地課						数値評価
名称	名木百選保全	R7 指標	名木の本数（本）			評価	A
		目標値	83	実績値	80	達成率	96%
		評価理由	-				
事業概要	宇治市の名木の保全ため、市内を東部、西部、山間部のエリアに分け、毎年１エリアずつ調査・診断を行う。必要に応じて、所有者に結果を通知し、助言を行う。処置が必要な場合には申請に基づき補助金を交付する。						
R7結果	東部エリアの調査・診断を実施し、保全のために必要な助言を行った。						
R8課題	現在選定している名木を維持するため、所有者からの相談等に応じて保全のために必要な助言を行う。						

所属	公園緑地課						数値評価
名称	緑化啓発	R7 指標	緑のウォークラリー参加者数（人）			評価	A
		目標値	2,000	実績値	1,900	達成率	95%
		評価理由	-				
事業概要	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」を中心とした緑化啓発事業を展開する。						
R7結果	「緑のウォークラリー」を実施するとともに、宇治市緑化ボランティア「みどりの会」が植物公園で展示を行い、緑化啓発活動を行った。						
R8課題	ウォークラリーでは景品の種類を増やすなど工夫して参加者の増加を目指す。また、展示会では開催回数を増やすことで、緑化啓発に取り組む。						

所属	公園緑地課						数値評価
名称	みどりのボランティア推進事業	R7 指標	みどりのボランティア延べ活動人数（人）			評価	B
		目標値	1,196	実績値	856	達成率	72%
		評価理由	-				
事業概要	市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーを育成する。						
R7結果	「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識及び技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所前で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、イベント協力などの活動を行った。						
R8課題	ボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する。						

所属	公園緑地課						数値評価
名称	まちかどふれあい花だん推進事業	R7 指標	花壇箇所数(か所)			評価	A
		目標値	59	実績値	57	達成率	97%
		評価理由	-				
事業概要	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園や歩道などの一部をボランティア団体等の活動により、花及び木を植えて花だん化する。						
R7 結果	町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花だん管理に必要な花苗・肥料などの支給を行った。						
R8 課題	活動の概要や状況を周知して、活動をより多くの団体等に知ってもらう。						

所属	開発指導課						義務法令
名称	開発指導事務	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	無秩序な開発事業を防止し、良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るため、開発事業者に対し、公園や緑地などの整備や事業所敷地内の緑化を推進するよう、適正に指導する。(根拠法令:宇治市まちづくり・景観条例)						
R7 結果	宇治市開発事業ガイドライン等に基づき、開発事業者と事前に協議を行い、公園や緑地などの整備や事業所敷地内の緑化推進について指導し、協力を求めた。						
R8 課題	宇治市開発事業ガイドライン等に基づき、開発事業者と事前に協議を行い、良好な居住環境の整備に努める。						

施策の方針3　森林資源の有効活用を図る

■　基本施策1　森林の保全・整備と活用

所属	資産活用推進課						数値評価
名称	市有林造林事業	R7 指標	間伐等整備実施面積(ha)			評価	A
		目標値	0.86	実績値	0.86	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	市有林の健全な状態を保つため、森林組合に事業委託し、間伐等による整備を行う。						
R7 結果	市有林の健全な状態を保つため、森林組合に事業委託し、間伐等による整備を行った。						
R8 課題	市有林の健全な状態を保つため、森林組合に事業委託し、間伐等による整備を行う。						

所属	農林茶業課						数値評価
名称	森林適正整備推進事業(緑の公共事業)	R7 指標	間伐面積(ha)			評価	A
		目標値	1.0	実績値	0.86	達成率	86%
		評価理由	-				
事業概要	林木の健全な成長を促進することを目的に実施する間伐及び間伐材等の搬出に対して経費の一部を補助する。						
R7 結果	林木の健全な成長を促進するための間伐及び間伐材の搬出に対して補助を行った。						
R8 課題	間伐を推進することで、森林や材木の健全な成長を促す。						

所属	農林茶業課					数値評価
名称	森林病害虫等防除事業	R7 指標	病害虫防除事業実施樹木本数（本）		評価	A
		目標値	59	実績値 59	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	天ヶ瀬森林公園等においてナラ枯れ、松枯れ対策として森林病害虫の防除事業を行う。					
R7 結果	松枯れ対策にて薬剤を松 41 本に樹幹注入、ナラ枯れ対策にてコナラ 18 本に薬剤塗布を行った。					
R8 課題	天ヶ瀬森林公園等においてナラ枯れ、松枯れ対策として森林病害虫の防除事業を行う。 （R8 年度は事業実施予定なし。）					

所属	農林茶業課					数値評価
名称	森林保全地域連携活動事業費	R7 指標	危険木伐採に係る補助金交付件数(件)		評価	C
		目標値	5	実績値 2	達成率	40%
		評価理由	-			
事業概要	森林施業の省力化のための森林施業路の開設に係る経費の一部を補助する。また、林縁部にある民家等に倒れる危険性のある立木などの伐採費用の一部を補助する。また、危険木・風倒木の処理で防災減災に努める。					
R7 結果	危険木の伐採に係る経費の一部補助金を交付した。また、林道周辺における危険木支障木処理事業を実施した。 【危険木伐採に係る補助金交付件数：2 件、林道周辺の危険木除去： 支障木：20 本、支障枝：5,250 ㎡】					
R8 課題	補助事業が積極的に活用されるよう、周知・案内を行う。					

所属	農林茶業課					数値評価
名称	森林経営管理運営費	R7 指標	集積計画(案)策定面積(ha)		評価	A
		目標値	32	実績値 28	達成率	88%
		評価理由	-			
事業概要	宇治市内における私有林・人工林を対象に、所有者の意向を確認し、森林の現況調査等を行い森林整備を実施する。					
R7 結果	笠取地区の当該林班において意向調査、現況調査を実施し、集積計画(案)を作成した。					
R8 課題	50,20 林班(予定)において意向調査、現況調査、集積計画(案)の作成に取り組む。					

■ 基本施策2 府内産木材の利用促進

所属	農林茶業課					数値評価
名称	公共施設内木質化促進事業	R7 指標	木質化材積(㎥)		評価	A
		目標値	3	実績値 12.3828	達成率	413%
		評価理由	-			
事業概要	京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金・森林環境譲与税を活用し、公共施設内において京都府内産木材の利用促進に取り組む。					
R7 結果	公園緑地課所管の植物公園、市内公園、生涯学習課所管の野外活動センター、学校改革推進課担当の西小倉学園で京都府内産木材を活用した。 【活用内容 市内公園・植物公園:ベンチ補修用 560 枚等、野外活動センター：テーブル 31 台等、西小倉学園：カウンター、書架等】					
R8 課題	公園緑地課、農林茶業課にて京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、府内産木材の利用を進める。					

所属	公園緑地課						数値評価
名称	公園施設京都府内産木材備品等整備事業(公共施設内木質化促進事業)	R7 指標	木質化材積(㎥)			評価	A
		目標値	2.2584	実績値	2.2584	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	市内の公園や植物公園のベンチなどに京都府内産木材を活用し、京都府内産木材の利用拡大を図るとともに、市民が京都府内産木材を身近に感じられる機会を創出する。						
R7 結果	公園緑地課所管の公園で京都府内産木材を活用し京都府内産の木材を身近に感じてもらい、木のぬくもりやその木を育む山林への愛着を感じてもらうきっかけを創出した。						
R8 課題	京都府内産の木材を身近に感じてもらい、木のぬくもりやその木を育む山林への愛着を感じてもらうきっかけを創出する。						

所属	建築指導課						義務法令
名称	京都府内産木材等の使用基準量適合指導	R7 指標	-			評価	-
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	-				
事業概要	京都府地球温暖化対策条例に基づき建物規模や利用状況に応じた京都府内産木材等の基準量を使用する義務がある。特定建築物(2,000 ㎡以上)については建築計画に関する(着手前)届出及び工事完了報告をしなければならない。(根拠法令:京都府地球温暖化対策条例)						
R7 結果	全ての特定建築物(2,000 ㎡以上)について、基準適合を確認した。 【特定建築物届出等件数:3 件(変更含まない。)】						
R8 課題	制度説明を継続し、全ての対象建築物の基準適合を確認することを目指す。						

所属	学校改革推進課						数値評価
名称	新規 京都府内産木材の利用促進	R7 指標	木質化材積(㎥)			評価	A
		目標値	18.2026	実績値	18.2026	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	宇治西小倉学園において、京都府内産木材を一部建材や木製備品に使用し、京都府内産木材の利用を促進する。						
R7 結果	宇治西小倉学園内の柱・天井の一部建材、2F メディアセンターの書架等に京都府内産の木材を使用した。 【木質化材積 建物:11.7487 ㎥、備品:6.4539 ㎥】						
R8 課題	R7 年度で完了した。						

所属	生涯学習課						数値評価
名称	新規 京都府内産木材の利用促進	R7 指標	木質化材積(㎥)			評価	A
		目標値	3.6705	実績値	3.6705	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	総合野外活動センター内の「子ども読書コーナー」に、京都府内産木材を使用した本棚や幼児用用具などの木製備品を設置し、利用者が京都府内産木材に触れ、その良さを理解してもらう機会を創出する。						
R7 結果	R7 年度については、食堂内のテーブルとベンチを、京都府内産木材を使用した木製備品に新調し、利用者が京都府内産木材に触れ、その良さを理解してもらう機会を創出した。【台数 テーブル 31 台、ベンチ 62 台】						
R8 課題	前年度に事業提案を行い、その提案が採用された場合には、京都府の「豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業」を活用して事業を実施している。R8 年度については、宿泊室の寝台簀子部分を整備することを提案したが採用されなかったため、引き続き事業提案が採用されるまで継続していく。						

施策推進に際しての横断的視点

施策の方針1　多様な主体との連携、環境教育の充実を図る

■　基本施策1　あらゆる主体と連携した活動

所属	産業振興課						数値評価
名称	宇治 NEXT（宇治市・宇治商工会議所）連携事業	R7 指標	事業者への情報提供実施回数（回）			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	宇治商工会議所報を活用して、KES 補助金制度など環境保全につながる情報を、事業者への情報提供を行う。						
R7 結果	宇治商工会議所報を活用して、KES 補助金制度のチラシを折り込み、事業者への情報提供を行った。						
R8 課題	情報提供の機会があれば随時積極的に宇治商工会議所報への折り込みを行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（eco ット宇治）との協働	R7 指標	eco ット宇治のイベント実施回数（回）			評価	A
		目標値	46	実績値	41	達成率	89%
		評価理由	-				
事業概要	eco ット宇治との協働により、省エネ相談、緑のカーテン講習会、イベント、広報誌発行などを行い、地球温暖化対策の普及啓発を進める。						
R7 結果	eco ット宇治との協働により地球温暖化対策の普及啓発を進めるため、講習会、イベントなどを実施した。 【実施回数/目標回数:環境フェスタ 1/1 回、その他イベント等 41/46 回】						
R8 課題	会員の高齢化や減少により、事業運営に支障が出ているため、事業の見直しを行い、温暖化防止により効果的な取組に注力できるよう運営の改善を図る。 【目標　実施回数:環境フェスタ:1 回、その他イベント等:40 回】						

所属	環境企画課						数値評価
名称	出前環境学習会	R7 指標	環境学習会の実施学校数（校）			評価	A
		目標値	2	実績値	3	達成率	150%
		評価理由	-				
事業概要	次世代を担う子ども達が環境について学ぶ機会を提供するため、小学校に eco ット宇治メンバーと職員が出向く出前環境学習会を実施する。						
R7 結果	「宇治の自然と環境」、「エネルギーと宇治の自然」をテーマとする学習会などを実施した。						
R8 課題	eco ット宇治の高齢化やメンバー減少により依頼に対応できない可能性があり、eco ット宇治のメンバーのスキルアップや他の機関の講師等の紹介など、体制の構築を図る。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	京都府立大学地域貢献型特別研究	R7 指標	事業者の回収率(%)			評価	B
		目標値	30	実績値	21	達成率	69%
		評価理由	-				
事業概要	宇治市、福知山市、久御山町を対象とする京都府立大学地域貢献型特別研究「府下自治体の脱炭素化を加速するための調査研究」に参画する。(R6 年～8 年)						
R7 結果	「府下自治体の脱炭素化を加速するための調査研究」の一環で、市民対象の脱炭素の意識・行動アンケート調査の調査票作成や送付・回収に協力した。また、事業者対象アンケートの周知等に協力した。【市民アンケート回収率:36.3%、事業者アンケート回収率:20.7%】						
R8 課題	R6～7 年で実施した市民、事業者向けアンケート結果を踏まえ、実効性の高い脱炭素ロードマップの作成に取り組む。						

所属	警防救急課						数値評価
名称	新規 産学公連携による熱中症標語コンテストの実施	R7 指標	夏季の救急出動件数の抑制(件)			評価	A
		目標値	4,485 以下	実績値	4,456	達成率	101%
		評価理由	-				
事業概要	大塚製薬、京都文教大学との連携により熱中症標語コンテストを実施し、市民の予防行動への意識の向上に努める。						
R7 結果	熱中症標語コンテストへの応募を通じて、市民の予防行動への意識改革の向上に努めた。						
R8 課題	熱中症標語コンテストの受賞作品を活用し、チラシや動画等を産官公連携で作成し、街頭イベントやSNSなどの啓発活動に活用していく。						

■ 基本施策2 次世代を担う子ども達への環境教育の充実

所属	環境企画課						数値評価
名称	親子で学ぶゼロカーボンツアー	R7 指標	親子で学ぶゼロカーボンツアー参加者数(人)			評価	A
		目標値	60	実績値	60	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	小学生及び保護者を対象に、ゼロカーボンに関する先進的な施設の見学を通じて、地球温暖化防止について学習する機会を提供する。						
R7 結果	小学 5・6 年生とその保護者を対象としたゼロカーボンツアーを 3 回実施した。大阪・関西万博を目的地として、脱炭素をテーマにしたパビリオンを訪れ、カーボンニュートラルへの理解を深める場を提供した。						
R8 課題	R8 年度は休日の実施や体験型施設の見学を新たに取り入れることで、参加者がより理解を深められる機会を創出する。また、市政だよりや SNS を活用して広く広報を行う。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	環境教育(再掲 2-2-3)	R7 指標	環境教育実施学校・園数(か所)			評価	A
		目標値	57	実績値	59	達成率	104%
		評価理由	-				
事業概要	幼保こども園、小学校、中学校に応じた内容で環境教育を実施し、循環型社会への関心を深める。						
R7 結果	未来を担う子どもたちに向け、ごみの分別や3R、SDG'sなどの内容で環境教育を実施した。 【実施回数:幼保こども園 33 園、小学校 21 校、中学校 5 校】						
R8 課題	引き続き中学校での実施拡充に向け、今後も働きかける。						

所属	交通政策課						数値評価
名称	交通学習の実施	R7 指標	バスの乗り方教室実施回数(回)			評価	A
		目標値	1	実績値	2	達成率	200%
		評価理由	-				
事業概要	公共交通の利用を促進するため、小学生を対象とした交通学習を実施する。						
R7 結果	小学生へのバスの乗り方教室を実施した。						
R8 課題	小学生へのバスの乗り方教室の実施につながるよう、広報に努める。						

所属	学校教育課						進捗度評価
名称	「宇治学」推進事業	R7 指標	-			評価	A
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	副読本を改訂し学習できている				
事業概要	全小中学校で学ぶ「宇治学」(総合的な学習の時間)の副読本を作成・改訂する。また、学校図書館の関連資料の充実を図り、「宇治学」の総合支援を行う。小学校 4 年生テーマ「発見!!「ふるさと宇治」の自然をつたえよう」						
R7 結果	改訂版の発行から 4 か年が経過した「宇治学」副読本及び指導の手引き(小学校 4 年生)、同じく 3 か年が経過した同副読本(中学校 3 年生)を改訂した。						
R8 課題	「宇治学」副読本及び指導の手引きの改訂を行い、「宇治学」の総合支援を行う。						

所属	学校教育課						進捗度評価
名称	社会科教育振興事業	R7 指標	-			評価	A
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	継続して環境学習を実施している				
事業概要	小学校 3 年生の社会科で使用する副読本を編集・作成・改訂する。その中でごみの分別やゴミ処理の仕組み、3R、宇治市の現状などを学習する。(まち美化推進課と連携したパッカー車出前授業等)						
R7 結果	小学校 3 年生の社会科で、ごみの分別やゴミ処理の仕組み、3R、宇治市の現状などを掲載した副読本を用い、環境学習を行った。						
R8 課題	社会科の副読本を活用し、環境学習を行う。						

所属	東宇治図書館						数値評価
名称	環境教育(SDGs の啓発)	R7 指標	事業実施回数(回)			評価	A
		目標値	6	実績値	5	達成率	83%
		評価理由	-				
事業概要	SDGs をテーマにした出張おはなし会の開催、SDGs の啓発を目的とした図書展示を行う。						
R7 結果	SDGs をテーマにした出張おはなし会や、SDGs の啓発を目的とした図書展示、子供向けのダンボールを再利用した工作教室を実施した。【おはなし会:3 回、図書展示:1 回、工作教室 1 回】						
R8 課題	おはなし会やイベントは対象が限られるため、広く市民に啓発できないのが課題である。R8年度は SDGs をテーマにした出張おはなし会や図書展示、子供向けの工作教室に加え大人向けの工作教室を実施する。【目標 おはなし会:3 回、図書展示:1 回、工作教室:2 回】						

所属	善法青少年センター					数値評価
名称	新規 環境をテーマにした図書展示の実施	R7 指標	図書展示実施回数(回)		評価	A
		目標値	1	実績値 1	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	環境をテーマにした図書展示を実施し、環境問題についての啓発を行う。					
R7結果	環境をテーマにした図書展示を実施したが、展示期間が 1 週間と短かったため、図書貸出には至らず、啓発にはつながらなかった。					
R8課題	環境をテーマにした図書展示を実施し、環境問題についての啓発を行う。児童・生徒に興味を持ってもらえるよう工夫をし、引き続き啓発を行う。					

所属	河原青少年センター					数値評価
名称	楽しい日「環境学習編」	R7 指標	延べ参加者数(人)		評価	A
		目標値	20	実績値 20	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	食や環境をテーマにした絵本等を活用した読み聞かせや子どもたちにとって身近な遊び場・運動広場などを利用した環境学習を行う。					
R7結果	夏休み期間を中心に絵本の読み聞かせを行うとともに環境をテーマとした図書の展示や運動広場・園芸広場において体験学習を行った。					
R8課題	読み聞かせと環境学習を夏休み期間中に随時行う。					

■ 基本施策3 すべての世代への環境学習の推進

所属	危機管理室					数値評価
名称	防災出前講座	R7 指標	防災出前講座実施回数(回)		評価	B
		目標値	110	実績値 81	達成率	74%
		評価理由	-			
事業概要	市民の防災意識を高めるため、災害への備えや心構え、自助・共助の必要性などを説明する講座を地域に出向いて行う。気候変動が災害に影響していることや命を優先した避難方法を情報発信する。					
R7結果	災害への備えや心構え、自助・共助の必要性などを説明する講座を町内会・自治会等を中心に様々な団体・機関に出向いて行った。					
R8課題	若年層を含め、幅広い層に向けた働きかけの強化が課題であるため、これまでに実施実績のない団体を含めて依頼に応じて防災出前講座を実施する。					

所属	危機管理室					数値評価
名称	防災シンポジウム	R7 指標	シンポジウム実施回数(回)		評価	A
		目標値	1	実績値 1	達成率	100%
		評価理由	-			
事業概要	防災・減災の取組を推進するため、気候変動が災害に与える影響を含め、若年層を中心に幅広い層に対し防災意識を醸成するシンポジウムを実施する。					
R7結果	教育機関等の協力を得て、気候変動が災害に与える影響を含め、防災意識を醸成するシンポジウムを実施した。					
R8課題	気候変動が災害に与える影響を含め、自然災害やその備えについて説明するとともに、防災意識を醸成するシンポジウムを実施する。					

所属	環境企画課						数値評価
名称	ゼロカーボンセミナー事業	R7 指標	ゼロカーボンセミナー実施回数（回）			評価	C
		目標値	8	実績値	4	達成率	50%
		評価理由	-				
事業概要	市民、事業者、関連団体などを対象とした、講習会や研修会を実施することにより、脱炭素に関する理解を深め、意識の向上と行動の変容を促す。						
R7 結果	事業者向け出前講座を募集したが、申込みが無く開催できなかった。市民向けには、生涯学習センターと共催による市民向け断熱講座、親子を対象とした再エネ工作教室を実施した。その他に eco ット宇治会員対象研修、全職員向けオンライン研修を実施した。						
R8 課題	事業者向けセミナーは参加者数が無く、周知方法や開催形態の見直しを行う。市民、事業者、関係団体、市職員などを対象としたセミナーを実施する。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	出前講座	R7 指標	環境出前講座実施回数（回）			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	自治会等に eco ット宇治メンバーと職員が出向き、地球温暖化等に関する出前講座を実施する。						
R7 結果	羽戸山集会所で小型太陽光発電の出前講座を実施し、地域住民の温暖化への意識を高めることができた。						
R8 課題	自治会等の依頼を受けて eco ット宇治が出向き、出前講座を実施する。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	環境展	R7 指標	環境展の来場者数（人）			評価	A
		目標値	130	実績値	131	達成率	101%
		評価理由	-				
事業概要	環境月間である 6 月に、環境に関する知識の普及啓発のため、展示、体験コーナーを実施する。						
R7 結果	市役所ロビーで、気候変動や省エネクイズのパネル展示や脱炭素関連図書の読書コーナー、省エネ相談などを実施し、来場者の温暖化への関心を高めることができた。						
R8 課題	来場者の増加を目指して、SNS での広報やワークショップを実施するなど来場を促す取組を行う。						

所属	環境企画課						数値評価
名称	環境フェスタ	R7 指標	環境フェスタの来場者数（人）			評価	A
		目標値	700	実績値	580	達成率	83%
		評価理由	-				
事業概要	eco ット宇治と共同主催で環境フェスタを実施する。						
R7 結果	学校・企業・市民団体・eco ット事業者会員が出展し、生涯学習センターで環境フェスタを実施した。モデルカーの作成や子ども服の譲渡会などのコーナーがあり、市民に環境保全および省エネの啓発を行った。						
R8 課題	R8 年度は 3 月に生涯学習センターで環境フェスタを実施する。来場者数の増加に向けて、体験型ワークショップなどを導入するほか、eco ットと協同してイベントを周知し、来場者へ環境意識の向上を図る。						

所属	まち美化推進課						数値評価
名称	出前講座（再掲 2-2-3）	R7 指標	出前講座実施団体数（団体）			評価	A
		目標値	15	実績値	14	達成率	93%
		評価理由	-				
事業概要	町内会、自治会及び市民グループへ職員が出向く出前講座を通じて、ごみの分別、3R を普及・啓発し、循環型社会への関心を深める。						
R7 結果	各団体のニーズに応じたテーマで実施し、循環型社会への関心を深める機会となった。						
R8 課題	実施団体の拡充を図る。						

所属	生涯学習課						数値評価
名称	生涯学習講座における環境学習の推進	R7 指標	事業実施回数（回）			評価	A
		目標値	2	実績値	3	達成率	150%
		評価理由	-				
事業概要	各世代に向けて、脱炭素社会や循環型社会などをテーマとした講座やイベントを実施する。						
R7 結果	夏休み子ども★わくわくフェアや宇治まなびんぐフェスタのコーナーにて、小学生や全世代に向けて環境学習の場を提供した。また、環境企画課と共催による環境講座を断熱をテーマに実施した。						
R8 課題	今後もイベント等のコーナーにて学習の場を提供する。						

所属	中央図書館						数値評価
名称	環境月間・地球温暖化対策月間テーマ図書展示	R7 指標	図書展示実施回数（回）			評価	A
		目標値	2	実績値	2	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	毎年6月の環境月間や 12 月の地球温暖化対策月間に、テーマ図書展示による啓発を行う。						
R7 結果	6 月の環境月間、12 月の地球温暖化防止月間に、関連する図書展示を実施し、環境問題のトピックスを意識した内容で啓発を行った。						
R8 課題	環境問題等に関する図書の展示、収集を行う。						

所属	西宇治図書館						数値評価
名称	環境月間テーマ図書展示	R7 指標	図書展示実施回数（回）			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	毎年 6 月の環境月間にテーマ図書展示を実施し、SDGs など環境問題のトピックスを意識した内容で啓発を行う。また、時代の潮流をとらえた図書資料を可能な範囲で購入するよう努める。						
R7 結果	6 月の環境月間に関連してテーマ図書展示を実施し、SDGs など環境問題のトピックスを意識した内容で啓発を行った。また、環境に関したもので、時代の潮流をとらえた図書資料を可能な範囲で購入した。						
R8 課題	市民に環境への関心を持ってもらうために、環境月間である 6 月に、テーマ図書展示を行い、啓発する。						

施策の方針2　時代の潮流を捉えた施策を推進する

■　基本施策1　SDGs の視点からの施策の推進

所属	政策戦略課						進捗度評価
名称	地方創生と持続可能な開発目標	R7 指標	-			評価	A
		目標値	-	実績値	-	達成率	-
		評価理由	創生総合戦略に基づき適切な進捗管理が図れているため。				
事業概要	各施策が経済・社会・環境の総合的取組であることを意識しながら「第 3 期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、市民をはじめ、各種団体と連携を進める中で、さらなる持続的な発展につなげていく。						
R7 結果	幅広い意見を踏まえて、宇治市の特性を活かした「第 3 期宇治市人口ビジョン、宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進することができた。						
R8 課題	創生総合戦略の適切な進捗管理に努める。						

■　基本施策2　デジタル技術を活用した施策の推進

所属	環境企画課						数値評価
名称	ホームページや SNS での情報発信	R7 指標	HP、SNS の掲載回数（回）			評価	A
		目標値	5	実績値	9	達成率	180%
		評価理由	-				
事業概要	ホームページや SNS で情報発信を行う。						
R7 結果	温暖化対策について各種補助金の案内を通じてホームページで情報発信を行った。エコ・アクション・ポイントやイベントなどの情報を LINE やインスタグラムで発信した。【実施回数/目標回数　LINE:7/4 回、インスタグラム:2/1 回】						
R8 課題	ホームページでの情報発信に加えて、効果的な手法として、SNS での周知も行う。【目標　LINE:5 回、インスタグラム:1 回】						

所属	環境企画課						数値評価
名称	デジタル化の推進	R7 指標	WEB 申込みの実施回数（回）			評価	A
		目標値	1	実績値	1	達成率	100%
		評価理由	-				
事業概要	デジタル技術を活用した施策を推進する。						
R7 結果	ゼロカーボンツアーのチラシに申込用 QR コードを掲載し、オンライン化を進めた。						
R8 課題	イベントチラシに申込用 QR コードを掲載し、オンライン化を進める。						

所属	学校教育課					進捗度評価
名称	「宇治学」副読本のデジタル化事業	R7 指標	-		評価	A
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	副読本をデジタル教材化し学習できている			
事業概要	宇治市版の副読本をデジタル化し提供する。					
R7 結果	小学校 4 年生及び中学校 3 年生用副読本を改訂にあわせてデジタル教材化し、R8 年度よりタブレット端末で活用できるようにした。					
R8 課題	「宇治学」副読本の改訂にあわせてデジタル教材化を行う。					

■ 基本施策3 新たな技術を活用した取組についての情報提供

所属	環境企画課					進捗度評価
名称	熱線遮熱フィルムの活用（再掲 1-3-4）	R7 指標	-		評価	D
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	開発状況等の情報収集を行っているが、具体的な協議に至っていないため。			
事業概要	エネルギー利用の効率化を図るため、熱線遮蔽フィルムに関する情報収集を行うとともに、社会実装に向けた実証実験に協力する。					
R7 結果	情報収集にとどまり、市として具体的な連携、協力提案等は行えなかった。					
R8 課題	企業との協議の場を持ち、開発状況に関する情報収集を行うとともに、連携、協力内容について具体的な検討を行う。					

所属	環境企画課					進捗度評価
名称	新たな技術の活用（再掲 1-2-1）	R7 指標	-		評価	D
		目標値	-	実績値 -	達成率	-
		評価理由	開発状況等の情報収集を行っているが、具体的な協議に至っていないため。			
事業概要	再生可能エネルギーの利用促進を図るため、次世代型太陽光発電などの新技術に関する情報収集を行うとともに、これらの社会実装に向けた取組に協力する。					
R7 結果	情報収集にとどまり、市として具体的な連携、協力提案等は行えなかった。					
R8 課題	企業との協議の場を持ち、開発状況に関する情報収集を行うとともに、連携、協力内容について具体的な検討を行う。					